

令和6年第6回（9月）上越市議会定例会

議 会 資 料

● 令和5年度決算関係	
◎ 県内20市決算状況	1
◎ 市民1人当たり決算額の状況	3
◎ 令和5年度一般会計予備費の充用実績	4
● 令和6年度一般会計予備費の充用状況	8
● 第7次行政改革推進計画の令和5年度の取組について	10
● 令和5年度地域独自の予算事業	
◎ 地域自治区別事業一覧表	17
◎ 常任委員会別事業一覧表	32
● 令和6年能登半島地震に係る復旧・支援の取組について	45
● 令和5年度 エネルギー、食料品等の価格高騰に伴う生活者・事業者等への 支援の取組	49

県内20市決算状況

(単位：千円)

項目 市名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	実質収支	実質単年度 収支
上越市	108,049,599	102,949,376	5,100,223	4,169,637	▲ 1,743,014
新潟市	440,273,359	426,252,997	14,020,362	5,222,869	▲ 5,039,682
長岡市	143,493,732	137,147,703	6,346,029	4,984,979	▲ 274,929
三条市	55,275,229	52,726,592	2,548,637	2,410,169	▲ 71,163
柏崎市	50,830,219	47,490,517	3,339,702	2,749,005	532,902
新発田市	49,685,112	48,270,825	1,414,287	1,070,832	▲ 1,055,913
小千谷市	22,828,019	21,489,762	1,338,257	729,018	▲ 51,423
加茂市	13,800,409	13,136,389	664,020	605,138	188,980
十日町市	37,235,105	35,216,689	2,018,416	1,819,303	319,516
見附市	19,176,194	18,548,242	627,952	553,879	▲ 135,992
村上市	43,399,446	39,796,075	3,603,371	3,313,473	1,847,045
燕市	46,809,100	43,912,143	2,896,957	2,466,102	▲ 174,194
糸魚川市	29,144,069	26,895,765	2,248,304	1,803,303	▲ 389,258
妙高市	24,501,157	22,282,458	2,218,699	1,936,356	▲ 377,690
五泉市	23,829,004	22,921,692	907,312	806,197	88,209
阿賀野市	24,670,907	23,411,057	1,259,850	1,201,117	159,703
佐渡市	51,029,583	48,994,686	2,034,897	1,103,708	▲ 1,729,412
魚沼市	35,114,577	33,838,800	1,275,777	1,106,698	▲ 120,241
南魚沼市	42,144,260	40,039,926	2,104,334	1,708,473	▲ 451,385
胎内市	20,558,718	19,280,451	1,278,267	907,859	183,105
20市平均	64,092,390	61,230,107	2,862,283	2,033,406	▲ 414,742

類似団体 (施行時特例市) 23市平均	104,613,197	100,513,227	4,099,970	3,179,142	▲ 1,169,587
---------------------------	-------------	-------------	-----------	-----------	-------------

(注) 類似団体……令和5年度は、施行時特例市23市

つくば市、伊勢崎市、太田市、熊谷市、所沢市、春日部市、草加市、
平塚市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、長岡市、上越市、
沼津市、富士市、春日井市、四日市市、岸和田市、茨木市、加古川市、
宝塚市、佐賀市における普通会計

(注) 決算額等は、地方財政状況調査によるもので、一般会計の数値とは一致しない。

(注) 他市の状況は、速報値であるため今後変更の可能性がある。

(注) 表の指数は、表示単位未満で調整しているため、総数とその内訳が一致しない場合がある。

項目 市 名	実質収支率 比 (%)	経常収支率 比 (%)	順位	経常一般 財源比 (%)	順位	財政力 指数	順位
上 越 市	7.1	92.4	9	99.8	18	0.58	5
新 潟 市	2.2	94.2	13	96.8	20	0.65	1
長 岡 市	7.0	92.6	10	100.2	12	0.59	4
三 条 市	9.0	95.1	15	101.1	2	0.54	6
柏 崎 市	11.4	92.8	11	101.0	5	0.65	1
新 発 田 市	4.0	87.5	2	100.4	9	0.48	9
小 千 谷 市	7.1	88.9	4	101.1	2	0.52	8
加 茂 市	8.2	96.5	18	100.4	9	0.40	16
十 日 町 市	9.1	95.7	17	100.2	12	0.33	18
見 附 市	5.4	94.9	14	100.8	6	0.53	7
村 上 市	15.2	92.1	8	101.3	1	0.34	17
燕 市	11.7	93.0	12	101.1	2	0.60	3
糸 魚 川 市	11.1	96.5	18	100.6	8	0.47	10
妙 高 市	15.8	85.7	1	99.9	17	0.42	12
五 泉 市	5.8	88.2	3	99.4	19	0.42	12
阿 賀 野 市	9.2	89.2	5	100.0	16	0.42	12
佐 渡 市	4.4	95.3	16	100.3	11	0.24	20
魚 沼 市	6.9	91.4	7	100.2	12	0.28	19
南 魚 沼 市	8.8	89.5	6	100.7	7	0.41	15
胎 内 市	9.5	98.6	20	100.1	15	0.44	11
20 市 平 均	8.4	92.5		100.3		0.46	
類似団体 (施行時特例市) 23市平均	6.2	93.2		101.3		0.87	

(注) 順位は、それぞれの比率等の良好な順序

市民1人当たり決算額の状況

		令和3年度				令和4年度				令和5年度			
		上越市		県内 20市平均	類似団体 23市平均 施行時特例市	上越市		県内 20市平均	類似団体 23市平均 施行時特例市	上越市		県内 20市平均	類似団体 23市平均 施行時特例市
		R4.1.1現在人口 187,021人		人 105,707	人 242,238	R5.1.1現在人口 184,941人		人 104,533	人 241,857	R6.1.1現在人口 182,911人		人 103,278	人 241,226
		市民1人 当たり	前年度比	市民1人 当たり	市民1人 当たり	市民1人 当たり	前年度比	市民1人 当たり	市民1人 当たり	市民1人 当たり	前年度比	市民1人 当たり	市民1人 当たり
歳入総額		円	%	円	円	円	%	円	円	円	%	円	円
歳入総額		589,310	▲ 8.9	609,013	427,841	581,689	▲ 1.3	608,669	428,414	590,722	1.6	620,581	433,673
歳出総額		565,937	▲ 10.5	582,759	406,607	549,280	▲ 1.2	583,793	409,228	562,839	2.5	592,867	416,677
実質収支		25,583	11.4	21,264	17,849	30,809	20.4	20,864	16,049	22,796	▲ 26.0	19,689	13,179
歳入	市税	160,843	▲ 1.7	147,957	163,064	168,535	4.8	154,182	168,032	174,691	3.7	157,503	171,375
	地方交付税	131,288	15.4	138,241	28,487	129,988	▲ 1.0	138,267	27,359	131,993	1.5	142,983	28,748
	国庫支出金	99,941	▲ 44.2	117,989	101,125	85,559	▲ 14.4	106,137	89,399	84,700	▲ 1.0	100,719	86,081
	県支出金	39,485	10.4	39,674	27,780	43,075	9.1	39,848	29,269	38,435	▲ 10.8	35,961	29,452
	地方債	42,528	4.7	50,131	27,503	31,969	▲ 24.8	45,257	25,301	32,007	0.1	50,243	27,208
	その他の歳入	115,225	1.2	115,021	79,882	122,563	6.4	124,978	89,054	128,896	5.2	133,172	90,809
歳出	人件費	86,464	2.2	99,161	63,236	87,599	1.3	100,853	63,660	86,452	▲ 1.3	99,841	64,063
	扶助費	105,116	26.5	113,519	119,348	96,650	▲ 8.1	102,183	107,811	105,664	9.3	110,727	116,015
	公債費	70,416	0.2	64,896	30,040	74,076	5.2	65,817	30,908	72,637	▲ 1.9	66,631	30,234
	投資的経費	51,595	17.9	63,006	41,018	46,717	▲ 9.5	65,979	46,478	51,835	11.0	74,021	49,630
	その他の歳出	242,346	▲ 28.7	242,177	152,965	244,238	0.8	248,961	160,371	246,251	0.8	241,647	156,735
その他	経常一般財源	305,051	5.7	306,655	213,923	314,276	3.0	309,953	217,059	321,918	2.4	319,161	222,460
	地方債現在高	642,084	▲ 2.7	703,269	290,463	609,161	▲ 5.1	693,016	286,265	576,952	▲ 5.3	687,639	284,975
	財政調整基金・ 減債基金現在高	47,168	0.8	47,535	36,103	41,325	▲ 12.4	50,385	38,210	32,640	▲ 21.0	48,727	37,651
人口千人当たり職員数		人 8.33	▲ 0.4	人 10.28	人 6.41	人 8.32	▲ 0.1	人 10.39	人 6.57	人 8.32	0.0	人 10.52	人 6.58

令和5年度 一般会計予備費の充用実績

充用の経過

(単位：千円)

充用日	款	項	目	事業	充用額	内 容
R5. 4. 1	2	1	29	鉄道駅舎等管理運営費	4, 532	浸水による大池いこいの森駅待合室の一部支柱及び基礎部の腐食・損壊に伴い、早期に外壁張り替え及び内壁の塗装等をするための修繕料
R5. 4. 3	7	1	3	観光施設等管理事業	4, 950	くわどり湯ったり村の源泉ポンプの故障を受け、営業継続に向け、早期にポンプを入れ替えるための修繕料
R5. 5. 12	3	4	1	災害弔慰・見舞事業	4, 999	大雪により被災した1世帯に、災害弔慰金を支給するための扶助費
R5. 5. 19	11	1	1	農地、農業用施設災害復旧費	939	融雪により牧区等で被災した農地及び農業用施設を早期に復旧するための工事請負費
R5. 5. 19	11	1	2	林業用施設災害復旧費	9, 340	融雪により大島区等で被災した林道を早期に復旧するための工事請負費
R5. 5. 23	11	1	1	農地、農業用施設災害復旧費	11, 699	令和5年5月5日の地震により牧区等で被災した農地及び農業用施設を早期に復旧するための工事請負費
R5. 6. 23	11	1	2	林業用施設災害復旧費	2, 828	融雪及び令和5年6月14日、15日の大雨により、浦川原区等で被災した林道を早期に復旧するための工事請負費
R5. 7. 7	3	4	1	災害弔慰・見舞事業	5	大雪に係る災害弔慰金支給事務において、医療機関から意見書を徴するための手数料
R5. 7. 14	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	8, 541	令和5年7月13日の大雨により、板倉区等で被災した市道を早期に復旧するための工事請負費
R5. 7. 27	11	1	1	農地、農業用施設災害復旧費	43, 627	令和5年7月13日の大雨により、板倉区等で被災した農地及び農業用施設を早期に復旧するための委託料及び工事請負費
R5. 7. 27	11	1	2	林業用施設災害復旧費	7, 429	令和5年7月13日の大雨により、板倉区等で被災した林道を早期に復旧するための工事請負費
R5. 8. 9	6	1	2	農地渇水・高温対策事業	13, 192	令和5年夏の少雨と異常高温による農作物等への被害軽減を図るための需用費、通信運搬費、工事請負費及び補助金
R5. 8. 16	7	1	3	観光施設等管理事業	12, 518	くわどり湯ったり村の源泉ポンプの故障を受け、営業継続に向け、早期にポンプを入れ替えるための修繕料
R5. 8. 23	6	1	2	農地渇水・高温対策事業	474	令和5年夏の少雨と異常高温による農作物等への被害軽減を図るため、消雪井戸の開放場所を追加する工事請負費
R5. 8. 24	6	1	2	農地渇水・高温対策事業	658	令和5年夏の少雨と異常高温による農作物等への被害軽減を図るため、三和区法花寺浄水場の井戸水放流に係るポンプ稼働のための電気料金
R5. 8. 28	3	4	1	災害弔慰・見舞事業	2, 500	大雪により被災した1世帯に、災害弔慰金を支給するための扶助費
R5. 9. 25	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	2, 178	令和5年9月6日の大雨により被災した市道について、復旧に国庫補助を活用するための測量設計委託料
R5. 10. 11	11	1	1	農地、農業用施設災害復旧費	7, 376	令和5年8月26日、9月6日、10月2日の大雨に加え、9月以降の干ばつにより、各区で被災した農地及び農業用施設を早急に復旧するための工事請負費
R5. 10. 16	5	1	1	勤労者福祉施設管理運営費	2, 584	ワークパル上越の建物定期点検の結果を受け、必要な対応を行うための修繕料
R5. 11. 7	2	1	31	八千浦交流施設はまぐみ管理運営費	8, 899	八千浦交流施設はまぐみの浴場の給湯設備の故障を受け、早期に復旧するための修繕料
R6. 1. 1	3	4	1	能登半島地震災害救助費	264	令和6年能登半島地震を受け、災害救助法が適用されたことに伴い、災害救助法の救助項目である生活必需品の給与又は貸与を行うための消耗品費

(単位：千円)

充用日	款	項	目	事業	充用額	内 容
R6. 1. 1	3	4	1	能登半島地震災害救助費	150	令和6年能登半島地震の発生を受け、避難所等で炊き出しをするための食糧費
R6. 1. 1	3	4	1	能登半島地震災害救助費	800	令和6年能登半島地震の発生を受け、避難所の暖房に使用するための燃料費
R6. 1. 1	3	4	1	能登半島地震災害救助費	1, 297	令和6年能登半島地震の発生を受け、「災害時における福祉避難所の設置及び運営に関する協定実施細目」に基づき、福祉避難所を開設・運営するための負担金
R6. 1. 2	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	70, 868	令和6年能登半島地震により被災した市道を早期に復旧するための工事請負費等
R6. 1. 2	11	4	1	レインボーセンター災害復旧費	1, 804	令和6年能登半島地震によりレインボーセンターが停電したことから、高圧ケーブルの交換等早期に復旧するための修繕料
R6. 1. 4	4	3	2	能登半島地震災害廃棄物処理事業	649	令和6年能登半島地震により被災した家庭から搬出される災害廃棄物の受入れを迅速に行うための委託料
R6. 1. 4	11	1	3	漁港災害復旧費	1, 359	令和6年能登半島地震に伴う津波により被災した大潟漁港を早期に復旧するための工事請負費
R6. 1. 4	11	2	3	都市施設災害復旧費	2, 200	令和6年能登半島地震により高田駅前雁木の天井板等が落下したことから、歩行者の安全確保に向け、早期に復旧するための工事請負費
R6. 1. 4	11	3	1	小学校災害復旧費	4, 500	令和6年能登半島地震により損傷した校舎、体育館等を早期に復旧するための修繕料
R6. 1. 4	11	3	1	中学校災害復旧費	4, 000	令和6年能登半島地震により損傷した校舎、体育館等を早期に復旧するための修繕料
R6. 1. 4	11	4	1	上越文化会館災害復旧費	2, 595	令和6年能登半島地震により大ホール舞台天井の剥離等の被害が生じたため、早期に復旧するための修繕料
R6. 1. 5	11	1	1	農地、農業用施設災害復旧費	3, 954	令和6年能登半島地震により被災した各区の農地及び農業用施設を早期に復旧するための工事請負費
R6. 1. 9	11	2	2	河川災害復旧費	2, 387	令和6年能登半島地震により市管理河川の河道閉塞や倒木が発生したことから、早期に復旧するための工事請負費
R6. 1. 12	3	4	1	災害弔慰・見舞事業	1, 094	令和6年能登半島地震により被災した世帯に、災害見舞金を支給するための扶助費
R6. 1. 12	7	1	5	観光物産センター管理運営費	812	令和6年能登半島地震で被災した地域に対し、民間事業者の有志が輸送する支援物資の一時保管場所として、旧上越観光物産センターを活用するに当たり、必要となる電気料及び工事請負費
R6. 1. 12	11	4	1	観光施設災害復旧費	1, 030	令和6年能登半島地震で発生した津波の浸水により、漂流物等がなおえつ海水浴場一帯に散乱したため、来年度の海水浴場の開設に向け、集積等をするための委託料
R6. 1. 12	11	4	1	教育プラザ災害復旧費	350	令和6年能登半島地震により研修棟女子トイレのタイルの一部が剥離したため、早期に復旧するための修繕料
R6. 1. 16	3	4	1	能登半島地震災害救助費	22, 000	令和6年能登半島地震により居住する住宅が半壊以上（床上浸水含む）の被害を受けた方を対象に、住宅の被害程度及び再建方法に応じて給付する支援金
R6. 1. 19	2	1	6	財産管理費	256	令和6年能登半島地震により被災した旧中央保育園、旧雪のまちみらい館を補修するための修繕料
R6. 1. 26	10	5	5	水族博物館管理運営費	373	令和6年能登半島地震により被災した「のとじま臨海公園水族館」のマゼランペンギンを受け入れるための委託料

(単位：千円)

充用日	款	項	目	事業	充用額	内 容
R6. 1. 29	11	4	1	市民プラザ災害復旧費	3, 927	令和6年能登半島地震により被災した市民プラザを早期に復旧するための修繕料
R6. 1. 29	11	5	1	くるみ家族園災害復旧費	34, 067	令和6年能登半島地震により給水・給湯等の配管が破損し、浴場の運営ができなくなったことから、早期に復旧するための工事請負費
R6. 1. 30	3	4	1	能登半島地震災害救助費	560	令和6年能登半島地震により被災された方を対象に、災害救助法に基づき市が民間賃貸住宅を借上げ、応急住宅として提供するための使用料
R6. 1. 30	4	3	2	能登半島地震災害廃棄物処理事業	13, 235	令和6年能登半島地震の発生を受け、クリーンセンターにおいて仮置場を設けて受け入れている災害廃棄物を処理するための委託料
R6. 1. 30	11	3	2	図書館災害復旧費	350	令和6年能登半島地震により高田図書館の防火設備等が破損したため、早期に復旧するための修繕料
R6. 2. 5	11	4	1	観光施設災害復旧費	26, 452	令和6年能登半島地震で発生した津波により、漂流物等がなおつ海水浴場一帯に散乱したため、漂流物等を撤去処分するための工事請負費
R6. 2. 6	11	2	2	河川災害復旧費	462	令和6年能登半島地震により大字中門前地内で地すべりが確認されたことから、地すべり頭部の土砂撤去を行うための工事請負費
R6. 2. 8	3	4	1	能登半島地震災害救助費	24, 067	令和6年能登半島地震により開設した避難所で使用した毛布をクリーニング・リバックし、各避難所へ配備するための手数料
R6. 2. 8	3	4	1	能登半島地震災害救助費	2, 313	令和6年能登半島地震により開設した避難所で消費した災害用備蓄物資を補充するための消耗品費
R6. 2. 8	9	1	5	災害対策費	1, 634	令和6年能登半島地震の発生を受け、住宅の被害拡大を防止するために支給したブルーシートを補充するための消耗品費
R6. 2. 8	10	2	1	小学校施設管理費	2, 400	令和6年能登半島地震の発生を受け、地震により移動又は転倒のおそれがある備品類について、転落防止の措置をするための修繕料等
R6. 2. 8	10	3	1	中学校施設管理費	1, 000	令和6年能登半島地震の発生を受け、地震により移動又は転倒のおそれがある備品類について、転落防止の措置をするための修繕料等
R6. 2. 8	11	1	3	漁港災害復旧費	1, 947	令和6年能登半島地震により有間川漁港ほか2漁港及び海洋フィッシングセンターの漂着物を処理するための委託料
R6. 2. 8	11	1	3	漁港災害復旧費	102	令和6年能登半島地震により直江津港漁港区にある栽培施設において、海水を送る配管の漏水を早急に復旧するための工事請負費
R6. 2. 8	11	3	2	体育施設災害復旧費	333	令和6年能登半島地震により被災した総合体育館の復旧修繕について、当初の想定よりも修繕箇所が増加したことに伴う修繕料
R6. 2. 9	11	2	1	道路橋梁災害復旧費	20, 326	令和6年能登半島地震により被災した市道を早期に復旧するための工事請負費等
R6. 2. 14	11	1	1	農地、農業用施設災害復旧費	13, 737	令和6年能登半島地震により被災した各地の農地、農業用施設を早期に復旧するための工事請負費
R6. 2. 15	3	4	1	能登半島地震災害救助費	201	令和6年能登半島地震により被災された方を対象に、災害救助法に基づき市が民間賃貸住宅を借上げ、応急住宅として提供するための使用料
R6. 2. 16	7	1	3	観光施設等管理事業	7, 700	吉川ゆっつりの郷のろ過タンクの故障を受け、早期の風呂営業再開に向け、ろ過タンクを入れ替えるための修繕料
R6. 2. 26	11	1	3	漁港災害復旧費	144	令和6年能登半島地震により被災した直江津港漁港区の栽培施設について、修繕箇所が増加したことに伴う工事請負費
R6. 2. 28	11	5	1	くるみ家族園災害復旧費	4, 224	令和6年能登半島地震により損傷した消防設備を早期に復旧するための工事請負費
R6. 3. 22	3	2	2	私立保育所等運営費	69, 767	公定価格単価の増加等により不足が見込まれる私立保育所等の運営に係る児童保育委託料
				合 計	500, 958	

款別の内訳

(単位：千円)

	款名称	充用額
2	総務費	13,687
3	民生費	130,017
4	衛生費	13,884
5	労働費	2,584
6	農林水産業費	14,324
7	商工費	25,980
9	消防費	1,634
10	教育費	3,773
11	災害復旧費	295,075
	合計	500,958

(単位：千円)

予備費	
当初予算額	100,000
8月3日補正予算額（専決）	98,884
12月補正予算額	50,000
1月12日補正予算額（専決）	200,000
2月5日補正予算額（専決）	200,000
最終予算額	648,884
充用額	△ 500,958
予算残額	147,926

令和6年度 一般会計予備費の充用状況

令和6年8月16日現在

充用の経過

(単位：千円)

充用日	款	項	目	事業	充用額	内 容
R6. 4. 1	3	4	1	能登半島地震災害救助費	22, 375	令和6年能登半島地震により居住する住宅が半壊以上（床上浸水含む）の被害を受けた世帯に対し、生活再建を支援するための支援金
R6. 4. 1	3	4	1	災害弔慰・見舞事業	1, 514	令和6年能登半島地震により居住する住宅が半壊以上（床上浸水含む）の被害を受けた世帯に対して支給する災害見舞金
R6. 4. 10	5	1	1	技能労働者育成事業	605	令和6年3月28日（木）から29日（金）にかけての強風により、上越人材ハイスクール第2実習室のシャッターが破損し、本復旧を行うための修繕料
R6. 4. 25	6	2	3	既設林道維持管理事業	1, 500	名立区及び頸城区で発生した倒木により、春先の耕作に支障を来すおそれがあることから、早急に林道の倒木処理を行うための委託料
R6. 4. 25	11	1	1	農地、農業用施設災害復旧費	8, 946	令和6年能登半島地震及び融雪により合併前上越市及び各区の農地、農業用施設に被害が発生したことから、早期に復旧するための工事請負費
R6. 4. 30	3	4	1	能登半島地震災害支援費	61	令和6年能登半島地震に伴う新潟市への「チームにいがた」応援職員の派遣（第7クール）を行うための旅費等
R6. 5. 2	11	2	3	都市施設災害復旧費	3, 685	令和6年能登半島地震によりたにはま公園の法面が崩落したことから、早期に復旧するための工事請負費
R6. 5. 2	11	1	1	農地、農業用施設災害復旧費	32, 346	融雪が進んだことにより、新たに令和6年能登半島地震による農地、農業用施設の被害が判明したことから、早期に復旧するための工事請負費
R6. 5. 2	6	2	3	既設林道維持管理事業	524	合併前上越市で発生した倒木により、春先の耕作に支障を来すおそれがあることから、早急に林道の倒木処理を行うための委託料
R6. 5. 2	11	1	2	林業用施設災害復旧費	4, 271	令和6年能登半島地震及び融雪により各地の林道施設に被害が発生し、林道の通行等に支障を来すことから、早期に復旧するための工事請負費
R6. 5. 7	2	7	1	リージョンプラザ上越管理運営費	4, 260	指定管理者から提出された実績報告書について、虚偽の記載を確認したことから、専門家による詳細調査を行うための委託料等
R6. 5. 9	3	4	1	能登半島地震災害支援費	61	令和6年能登半島地震に伴う新潟市への「チームにいがた」応援職員の派遣（第8クール）を行うための旅費等
R6. 5. 21	7	1	3	観光施設等整備事業	11, 895	令和6年能登半島地震による津波の発生を受け、より安全になおえつ海水浴場を開設できるよう避難経路を整備するための工事請負費等
R6. 5. 22	11	1	1	農地、農業施設災害復旧費	17, 008	令和6年能登半島地震により合併前上越市等で被災した農地及び農業用施設を早期に復旧するための工事請負費
R6. 5. 22	11	1	2	林業用施設災害復旧費	3, 300	令和6年能登半島地震により合併前上越市で被災した林道を早期に復旧するための工事請負費
R6. 5. 24	7	1	3	観光施設等整備事業	2, 122	鵜の浜海水浴場の砂浜が侵食されたことを受け、来訪者の安全を確保し、海水浴場を開設するための委託料等
R6. 7. 9	3	4	1	能登半島地震災害救助費	119	令和6年能登半島地震による石川県からの広域避難者が同県の支援制度を活用し、生活家電の給与を受けるための負担金

(単位：千円)

充用日	款	項	目	事業	充用額	内 容
R6. 7. 29	2	7	1	リージョンプラザ上越管理運営費	660	指定管理者から提出された実績報告書について、虚偽の記載を確認したことから、専門家による追加調査を行うための委託料
R6. 7. 31	11	1	1	農地、農業用施設災害復旧費	15,409	令和6年7月15日の大雨により、牧区等で被災した農地及び農業用施設を早期に復旧するための工事請負費
R6. 7. 31	11	1	2	林業用施設災害復旧費	2,101	令和6年7月15日の大雨により、合併前上越市等で被災した林道を早期に復旧するための工事請負費
R6. 8. 1	3	4	1	能登半島地震災害救助費	5,355	令和6年能登半島地震により被害を受けた住宅に対する被災者住宅応急修理制度について、当初見込を上回る申請に対応するための委託料
合 計					138,117	

款別の内訳

(単位：千円)

(単位：千円)

款名称	充用額
2 総務費	4,920
3 民生費	29,485
5 労働費	605
6 農林水産業費	2,024
7 商工費	14,017
11 災害復旧費	87,066
合計	138,117

予備費

当初予算額 100,000

5月8日補正予算額（専決） 81,800

現計予算額 181,800

充用額 △ 138,117

予算残額 43,683

第7次行政改革推進計画の令和5年度の取組について

第7次行政改革推進計画の初年度として、第7次総合計画に基づくまちづくりの着実な推進と基礎的な行政サービスの確実な提供を目指し、3つの基本方針に基づく12の取組の柱の目標達成に向け取組を推進した。

【取組の体系】

基本方針	取組区分	取組の柱
① 人づくり	(1) 人材育成の強化	柱① 人材確保
		柱② 職員の能力向上
		柱③ 人事評価の見直し
		柱④ 人事異動の見直し
② 組織づくり	(1) 組織体制の強化	柱⑤ 組織機構・運用の強化
	(2) 働き方の見直し	柱⑥ 勤務形態の多様化
		柱⑦ 業務執行方法の改善
	(3) 行政サービスの立案・改善の強化	柱⑧ 施策・事業の立案・改善の強化
		柱⑨ 市民サービスの立案・改善の強化
③ 健全財政の維持	(1) 歳入の確保	柱⑩ 歳入の確保
	(2) 歳出の適正化	柱⑪ 事務事業の適正化
		柱⑫ 公共施設の適正管理と第三セクター等の経営健全化の推進

1 基本方針ごとの取組結果の概要

① 人づくり

- 人物重視の採用試験の実施等により、必要な人材の確保に努めたほか、職員研修や資格取得支援制度の拡充等に取り組み、職員に求められる資質・能力の向上を図った。
- 人事異動を通して、広い視野を持つ職員の育成につなげた。

② 組織づくり

- 在宅勤務の一部拡充等により多様な働き方を推進し、働きやすい職場環境づくりを進めた。
- デジタル技術の活用により、庁内のペーパーレス化を推進するなど、業務の改善に取り組んだほか、行政手続のオンライン化やキャッシュレス化等により市民の利便性の向上を図った。

③ 健全財政の維持

- ふるさと納税や未利用財産の売却・貸付による歳入の確保を図ったほか、PDCAサイクルに基づく事務事業の適正化に取り組み、歳出の適正化を進めた。
- 公の施設の適正配置計画に基づき、施設の廃止を進めたほか、日帰り・宿泊温浴施設については、施設の民間活用に向けた検討を実施するなど、市の将来的な財政負担の軽減に向けて取り組んだ。

2 取組の柱ごとの取組結果

1 人づくり (1) 人材育成の強化

柱① 人材確保

概要

- 計画的な定員管理の下、行政課題に的確に対応し、良質な行政サービスを提供するために必要な能力や適性、専門性を有する人材の確保に向けた取組を強化するもの

目標

- 良質な行政サービスを安定的かつ持続的に提供するため、必要な人材を確保している状態

■ 令和5年度の実施内容

- ・ 定員管理計画に基づき、必要な職員数を確保するための令和6年度採用計画を作成し、職員採用を行った。
- ・ 一般行政の試験職種で専門試験を廃止してグループディスカッションを実施し、より人物重視の採用試験とするなど、必要な人材の確保に努めた。
- ・ 採用試験の受験手続の電子化・簡素化を行ったほか、当市の職場の魅力等を伝える取組を進めた。

■ 成果・課題

- ・ 即戦力となることが期待される民間企業等職務経験者や高度な専門的知識、経験を有する任期付職員を確保した。
- ・ 令和6年4月1日採用について、一般行政においては予定する職員数を確保したが、土木技師、建築技師の採用は予定数に達しなかったことから、採用試験の前倒しや回数を増やして実施するなど、必要な人材の確保に努める必要がある。
- ・ 官民間問わず、若年層の退職、転職が全国で増加傾向にある状況を踏まえ、人材の定着に向けて取り組む必要がある。

1 人づくり (1) 人材育成の強化

柱② 職員の能力向上

概要

- 社会経済情勢の変化や複雑化・多様化する市民ニーズに柔軟に対応した良質な行政サービスの提供を担う職員を育成するため、職員研修の拡充や自己研さんの推進を行うもの

目標

- 職員研修等により、各職位に必要な資質・能力が向上している状態

■ 令和5年度の実施内容

- ・ 基礎・階層別研修を再構築し、管理職研修やキャリアデザイン研修等、新たに14の研修を実施したほか、既存の研修の拡充・見直しを行った。
- ・ 職員自らのキャリアデザインへの支援として、能力開発研修の受講について希望制を導入したほか、資格取得支援制度の対象資格の拡充等を行った。

■ 成果・課題

- ・ 基礎・階層別研修の再構築により、多くの職員が研修を受講し必要な資質や能力の向上を図った。
- ・ 能力開発研修を希望して受講した職員のアンケート結果から肯定的な意見が聞かれるなど、職員自身のキャリアデザインへの意識が高まった。
- ・ 研修受講後の時間経過に伴い、研修での気付きや取組への意識が薄れることが多いとの意見があることから、内容の定着や効果を高める取組を行う必要がある。

1 人づくり (1) 人材育成の強化

柱③ 人事評価の見直し

概要

- 人材育成のツールとして、職員の意欲と公務能率の更なる向上を図るため、人事評価制度の見直し・運用を行いながら、制度の熟度を高めるもの

目標

- 人事評価により、職員の意欲や能率が向上し、行動につながっている状態

■ 令和5年度の実施内容

- ・ 人事評価の信頼性や効果を高めるため、評価項目等を見直すとともに、評価者研修を実施した。
- ・ 課等の長、総合事務所長等を対象に、部下職員が評価を行う多面的評価を開始した。

■ 成果・課題

- ・ 評価者が公平・公正な評価を行うための技術の向上を図り、評価の信頼性と納得性を確保した。
- ・ 多面的評価を通じ、被評価者の実態をより捉えた評価とすることができたほか、被評価者の指導に活用できた。
- ・ 人事評価や所属長との面談について、さらに仕事に対する意欲の向上につながるよう取組を進める必要がある。

1 人づくり (1) 人材育成の強化

柱④ 人事異動の見直し

概要

- 広い視野と専門性を持つ職員を育成するとともに、職員の意欲向上と能力の発揮を促進し、あわせて、地域を知り、市民と共に考え行動する職員の育成に向け、キャリアデザイン、職員の希望や適性等を総合的に勘案した適材適所の人事異動を行うもの

目標

- 職員の専門性の向上が図られている状態
- 職員の意欲が向上し、能力が発揮されている状態
- 地域を知り、市民と共に考え行動する職員が育成されている状態

■ 令和5年度の実施内容

- ・ 事業系、窓口対応系、管理・調整系のジョブローテーションを行うとともに、職員の希望や適性、キャリアデザイン等を総合的に勘案し、人事異動を行った。
- ・ 地域に精通する職員(旧町村採用職員等)を総合事務所に配置した。

■ 成果・課題

- ・ ジョブローテーションの実施により、職員の適性を見極める機会を創出するとともに、広い視野を持つ職員の育成に取り組んだ。
- ・ 地域に精通した職員を配置したことにより、地域との情報共有・コミュニケーションの円滑化に寄与した。
- ・ 職員自身の成長や能力の向上につながるような人事異動を行う必要がある。

2 組織づくり (1) 組織体制の強化

柱⑤ 組織機構・運用の強化

概要

- 総合計画に基づく政策・施策・個別事業を効率的かつ着実に推進できる組織体制を整備するとともに、意思決定の迅速化や組織横断的な連携を推進するなど組織運営の強化を図るもの

目標

- 総合計画を着実に推進するための組織体制により行政課題に的確に対応している状態
- 迅速かつ的確な意思決定・実行、部局横断的な行政課題に対する部課等の意識の共有と連携が行われている状態

■ 令和5年度の実施内容

- ・ 第7次総合計画の着実な推進に向け、喫緊の課題に専門性をもって取り組む組織体制を整備した。
- ・ 分野横断的な課題に対し、共通の意識を持ち、政策プロジェクトの取組を実施した。

■ 成果・課題

- ・ 分野横断的な課題に対し、政策プロジェクトを通じて関係課が連携して施策・事業を立案及び予算化し、公約に基づく取組を進めた。
- ・ 行政需要等の変化を捉え、必要に応じて庁内の組織体制の見直しを検討するなど、第7次総合計画を着実に推進する組織体制を整備していく必要がある。

2 組織づくり (2) 働き方の見直し

柱⑥ 勤務形態の多様化

概要

- 職員が持てる能力を存分に発揮できるよう多様な働き方を推進するなど、働きやすい職場づくりを行うことで、職員が業務に集中し、自分らしく活躍できる職場環境づくりを進めるもの

目標

- ライフスタイル等に応じた多様な働き方の推進により業務に集中できる働きやすい職場環境づくりが進んでいる状態

■ 令和5年度の実施内容

- ・ 柔軟な勤務を可能とするため、在宅勤務を一部の職位において先行実施し、運用拡大に向けて検証した。
- ・ 職員のワークライフバランスの向上のため、育児休業等の取得促進や配偶者同行休業制度を導入した。
- ・ 働きやすい職場づくりの一環として、庁舎スペースの有効活用に向けた検討等を実施した。

■ 成果・課題

- ・ 在宅勤務の先行実施を通し、在宅勤務が職員の能率向上につながることを確認するとともに、課題に対する対応策を検討した。
- ・ 休暇・休業制度の周知が進み、職員の認知度が向上するとともに、休暇を取得しやすい職場環境となっている。
- ・ 時間外勤務の縮減や働きやすい職場環境の整備を引き続き推進する必要がある。

2 組織づくり (2) 働き方の見直し

柱⑦ 業務執行方法の改善

概要

- 非効率な業務執行等による職員の業務上の負担を軽減し、職員が持てる能力を存分に発揮できる環境を整えるとともに、業務の能率向上を図るため、デジタル技術の活用を含む業務執行方法の改善を推進するもの

目標

- デジタル技術の活用や業務執行方法の改善の取組により、ペーパーレスやオンラインによる会議、文書事務の電子化といった効率的な働き方や業務の改善等が浸透することで、業務執行に係る負担が軽減し、能率が向上した状態

■ 令和5年度の実施内容

- ・ デジタル技術を活用し、ペーパーレスやオンラインによる会議等の業務改善を進めたほか、文書管理・新財務会計システムを試行した。
- ・ 業務改善の仕組みとして、各課等におけるPDCAサイクルに基づく日常的な検証と改善を図る取組を開始した。

■ 成果・課題

- ・ 各課等で業務の検証を行い、業務執行等の改善につなげた。
- ・ 会議等のペーパーレス化の推進や文書事務の電子化を契機として、更なる業務執行等の見直しを図る必要がある。
- ・ 効率的な働き方や業務の改善を進めるため、デジタル技術の活用方法等の定着を図る必要がある。

2 組織づくり (3) 行政サービスの立案・改善の強化

柱⑧ 施策・事業の立案・改善の強化

概要

- 良質な行政サービスの提供を行うため、市民ニーズや社会経済情勢の変化をデータ等に基づき適切に捉え、成果や課題を整理し、PDCAサイクルに基づく施策や事業の立案・改善を一層推進するもの

目標

- 総合計画の進捗管理等を通じて、市民に必要とされる良質な行政サービスの立案・改善が適切に行われている状態

■ 令和5年度の実施内容

- ・ 政策協議の方法を見直し、施策単位での議論を踏まえて新規・拡充事業を立案した。
- ・ データの集約と活用を図るため、地図情報を一元化し、組織横断的に活用するための検討を行った。

■ 成果・課題

- ・ 政策協議の方法を見直したことで、施策の進捗や課題を踏まえた事業の予算化につながった。
- ・ 政策的な課題に対応するための施策の協議について、予算化との関連を考慮した実施時期の調整を検討する必要がある。
- ・ 地図情報の一元化に向けた具体的な手法について、引き続き検討する必要がある。

2 組織づくり (3) 行政サービスの立案・改善の強化

柱⑨ 市民サービスの立案・改善の強化

概要

- 市民ニーズや社会の変化に迅速に対応した利便性の高いサービスを提供するため、行政手続や窓口サービスといった市が市民と直接接点を持つサービスについて、デジタル化を始めとする利便性の向上を行うもの

目標

- 行政手続や窓口サービスなどについて、市民ニーズや社会経済情勢の変化に対応したものとすることで、市民の利便性向上や負担軽減を実現し、市民の満足度が向上した状態

■ 令和5年度の実施内容

- ・ 子育て・介護分野を始めとした各種手続や公共施設の予約、支払等についてオンラインによる運用を開始した。
- ・ 市民課及び税務課の窓口において、12月から手数料のキャッシュレス決済を導入した。
- ・ 窓口サービスの改善について、ワンストップ窓口の導入や添付書類の省略化等に取り組んだ。

■ 成果・課題

- ・ 各種手続や支払等のオンライン化やキャッシュレス化、窓口手続のワンストップ化等を進めたことで、市民の利便性の向上を図った。
- ・ 市公式LINEの機能拡充により、市民の利便性の向上と負担軽減に取り組んだ。
- ・ 窓口サービスの改善を進めるに当たり、市民ニーズの把握や担当課の負担軽減を考慮して検討を進める必要がある。

3 健全財政の維持 (1) 歳入の確保

柱⑩ 歳入の確保

概要

- 市民生活に必要な不可欠な基礎的な行政サービスの提供、直面する課題への対応及び総合計画に基づく政策推進に所要とする財源の確保に取り組むもの

目標

- 事務事業に所要とする財源を適正に確保し、過度な将来負担を抱えない状態

■ 令和5年度の実施内容

- ・ 歳入の確保に向け、ふるさと納税の返礼品の拡充についてPRを行ったほか、未利用財産の売却・貸付等を進めた。
- ・ 令和7年4月の施設使用料等の見直しに向け、施設の収支状況等の整理や近隣他市へのアンケート調査を実施する等の検討を行った。
- ・ 法改正に伴う手数料の見直し等を行った。

■ 成果・課題

- ・ ふるさと納税の寄附金額は約2.02億円を受け入れ、当初の目標額1.75億円を上回ったが、見直し後の目標額2.80億円には届かなかった。
- ・ 未利用財産の売却及び貸付の合計目標額1.47億円に対し、約1.62億円の歳入となり目標を達成した。
- ・ 未利用財産の処分に係る事前整理、役割分担を明確化し、処分フローの検討を進める必要がある。
- ・ 施設使用料や手数料の見直しは、コロナ禍による施設利用者数の減少や物価高騰が続いている状況等を踏まえた検討が必要である。

3 健全財政の維持 (2) 歳出の適正化

柱⑪ 事務事業の適正化

概要

- 必要な行政サービスを安定的かつ持続的に提供するため、PDCAサイクルに基づく事務事業の適正化に取り組むもの

目標

- 限られた経営資源を効率的・効果的に投入するとともに、手法の合理化、運用の工夫・改善により経費の縮減が図られ、基礎的な行政サービスの確保と政策推進が両立している状態

■ 令和5年度の実施内容

- ・ 業務改善の仕組みとして、各課等におけるPDCAサイクルに基づく日常的な検証と改善を図る取組を開始し、各課等における主体的な改善の取組を強化した。
- ・ 事業の検証と改善の推進に向け、優良事例や職場横断的に展開可能な業務改善事例を把握して周知・助言するなどの支援を行い、更なる改善を促している。

■ 成果・課題

- ・ 効率的な事務執行や、会議等のペーパーレス化・オンライン化など、所属内の事務改善に関する課題が多く挙げられ、速やかな改善や予算要求につながった。
- ・ 検証と改善の取組を不断に行っていくため、各課等の取組を把握し、引き続き、助言や伴走による改善支援等に取り組んでいく必要がある。

3 健全財政の維持 (2) 歳出の適正化

柱⑫ 公共施設の適正管理と第三セクター等の経営健全化の推進

概要

- 公共施設に係る将来的な財政負担の軽減を図るため、施設の適正配置と効果的かつ効率的な管理を推進するもの
- 第三セクター等に対する関与方針に基づき、経営の健全化を推進するもの

目標

- 公の施設の適正配置計画に基づく取組や施設管理の適正化を図ることで、市の将来的な財政負担が軽減された状態
- 第三セクター等の経営健全化を図ることで、市の将来負担が軽減されている状態

■ 令和5年度の実施内容

- ・ 公の施設の適正配置計画に基づき、施設の廃止や民間活用に向けた取組を推進した。
- ・ 第三セクター等に対する関与方針に不正防止の観点を追記する見直しを行い、法人の役員や事務担当者を対象としたコンプライアンス研修等を実施した。
- ・ 公共施設等総合管理計画の改訂や施設別維持管理(個票)の運用を開始した。

■ 成果・課題

- ・ 公の施設の適正配置計画の取組を進めるなどして10施設を廃止した一方、取組に遅れが生じている施設がある。
- ・ 第三セクターにおけるコンプライアンスの向上に資する取組を進めたほか、第三セクターの方向性の検討結果に基づく法人の整理や、専門家から経営改善の方策等の助言を受けるなど、経営健全化の取組を推進することができた。
- ・ 施設別維持管理(個票)に基づき予防保全の取組を推進し、適正に施設を維持管理することができた。
- ・ 指定管理者制度の運用を検証し、見直しを検討する必要がある。

令和5年度地域独自の予算事業 地域自治区別事業一覧表

※実施主体と提案団体が異なる場合は、「実施主体」欄に括弧書きで提案団体名を記載している。
 ※「自己負担額」欄には、補助事業における実施団体の自己負担額を記載しており、市の直営事業の場合、「－」を記載している。

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
高田区								
1	風鈴街道 in 雁木2023事業	越後高田・雁木 ねっとわーく	43	36	7	雁木を歴史的文化遺産として市民に広く認識してもらい、歴史景観を後世に残していくための機運の醸成並びに観光振興に役立てるため、8月1日から15日にかけて区内28町内において雁木の軒先へ風鈴を飾るとともに、8月13日から16日の夜間には行灯の掲出、8月1日から31日はお休み処を2か所開設した。	文化振興課	152～153
2	高田世界館と高田小町界隈散策ガイド制作とPR事業	特定非営利活動法人 街なか映画館再生委員会	605	396	209	高田小町界隈の歴史資源を活用して街なか散策の促進を図るとともに、交流人口の増に寄与するため、高田小町界隈の歴史資源を活用して高田世界館と高田小町界隈の散策ガイドを制作し、高田世界館や高田小町などの施設に配置したほか、「街なみ生活景観保全の啓発事業」として地元での祭などで景観保全のPRや地域住民も参加して干し柿、切り干し大根づくりを行った。	文化振興課	152～153
3	地域資源を活かした高田まちづくり事業	特定非営利活動法人 街なみFocus	645	515	130	雁木町家の景観や歴史文化の保全を推進するとともに、交流人口の増加に寄与するため、雁木通りに面した窓や室外機5か所に格子を取り付けたほか、「街なみ生活景観保全の啓発事業」として地元での祭などで景観保全のPRや地域住民も参加して干し柿、切り干し大根づくりを行った。	文化振興課	152～153
4	北部地域の文化・賑わいを創出する事業	高田区北部振興会	627	497	130	芸術や文化を通じた市民の情緒の向上に寄与し、高田区北部地域の活性化や地域づくりを図るため、11月3日から30日にかけて陀羅尼八幡宮において「紅葉まつり」を開催し、紅葉のライトアップによる景観を創出するとともに、地域の演奏家による野外演奏会を開催し、大勢の来場者に景観と音楽を楽しんでもらうことができた。	文化振興課	152～153
5	お馬出しプロジェクト事業	お馬出しプロジェクト	334	264	70	城下町高田に残る歴史ある地名や行事等を大切に、次世代に伝えまちの活性化につなげるため、地域の有識者を招いた講演会を9月、12月、3月の3回開催し、高田区の歴史や文化等の知見並びに参加者同士の交流を深める機会とするとともに、2月3日本町商店街を会場にふるさとの唄コンサート等を実施し、賑わいの創出に貢献した。	文化振興課	152～153
6	「第2回にいがた水墨画フェスティバルの開催」事業	上越水墨画フェスティバル実行委員会	866	605	261	水墨画を通じた文化の振興を図るとともに、高田区のにぎわいに寄与するため、3月21日から26日にミューゼ雪小町を会場に県内の水墨画愛好家等の出展による「第2回にいがた水墨画フェスティバル」を開催し、県内からの観光客の誘客を図った。	文化振興課	152～153
7	高田瞽女の文化の発信事業	特定非営利活動法人 高田瞽女の文化を保存・発信する会	149	118	31	まちの誇りを醸成するとともに、高田区の交流人口の増加に寄与するため、5月13日に瞽女の守り本尊である弁財天に瞽女唄を奉納する妙音講と瞽女唄演奏会を開催したほか、2月3日に高田瞽女の門付け再現と瞽女唄演奏会を行い、市内外からの大勢の来場者に高田瞽女の文化を広く発信することができた。	文化振興課	152～153
8	各年齢層のつながりや居場所になるように取り組む交流促進事業	誰でも集える場所 じくの家	531	511	20	地域における交流やつながりを深め、地域の活性化に資するため、毎週金曜日から月曜日の午前10時から午後3時に東本町2丁目の「じくの家」を会場に誰でも参加できるお茶の間事業を実施するほか、利用者の要望に応じて各種講座等を開催し、人のつながりの拡大並びに利用者同士の交流を促進することができた。	地域政策課	162～163
9	誰もが気軽に集える居場所事業	特定非営利活動法人 かたばみの家	219	160	59	人と人、人と社会がつながり支え合う活気ある地域づくりを図り、地域の活性化に資するため、毎週金曜日の午前10時から午後4時に寺町3丁目の真宗寺を会場に誰もが集える居場所事業を実施するほか、月1回程度創作活動の講座や保健師を招いた健康相談を開催し、利用者同士の交流を促進することができた。	地域政策課	162～163

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
10	地域であんしん子どもへの暴力防止事業	CAP・じょうえつ	174	142	32	子どもたちが地域のつながりの中で安心して過ごせる環境づくりを推進するため、5月から2月にかけて市内幼稚園等において計10回のワークショップを実施したほか、相談カード4種類3,000枚、広報紙500枚を作成し小学校等で配布、また朝市等でのPR活動を5月から3月にかけて計17回行い、子どもの人権啓発を呼び掛けた。	こども家庭センター	206～207
11	三世代雁木フェスティバルとふれあい事業	南三世代交流プラザ運営協議会	687	513	174	世代間交流並びに南三世代交流プラザの利用促進、地域住民の健康福祉を促進するため、8月5日及び12月23日に三世代交流のつどいを開催したほか、9月24日には南本町3丁目の雁木通りを会場に三世代雁木フェスティバルを開催し、地域の小中学校や町内会、商店街等からの協力を得ながら地域の元気を発信することができた。	こども家庭センター	218～219
12	青田川桜木整備と環境啓発事業	青田川を愛する会	921	736	185	地域の宝である青田川の保存と景観づくりを通じて市民の河川愛護意識の高揚を図るため、青田川の桜並木の維持管理として枝払い、施肥等を行ったほか、環境保全啓発ポスターを作成し流域19町内会等に配布、8月19日には「青田川灯りの夕べ」を開催し、堤防に1,000個の灯りを並べるなど青田川を舞台に夏の思い出づくりに取り組んだ。	河川海岸砂防課	316～317
13	雁木の景観保全と住民交流推進事業	南本町三丁目まちづくり協議会	476	440	36	雁木の町並み、文化を活用したまちづくりの推進、雁木の保全・再生や景観づくり等を図るため、8月9日に雁木フォーラムとして講演会を開催したほか、7月24日の雁木住民交流会では、おまつり広場や雁木の格子戸を利用した影絵や木製行燈や竹燈籠を設置し、夜の雁木の景観を楽しみながら地域住民の交流と理解を促進した。	都市整備課	322～323
14	第40回上越美術協会展及び会場における“音楽会”と“まちなか美術館”事業	上越美術協会	254	90	164	上越地域の美術文化の振興を図るとともに、高田市街地の活性化に寄与するため、8月17日から20日にミュゼ雪小町を会場に「第40回上越美術協会展」及び同会場内で音楽会を開催し、会期後9月1日から30日には「まちなか美術館」として本町商店街店舗に希望の作品を貸し出し、地域美術の振興並びに本町通りに賑わいをもたらすことができた。	小林古径記念美術館	372～373
15	戸張幸男作品展並びに作品集事業	六人の会	610	603	7	高田区ゆかりの芸術家にスポットを当て、地域の芸術、高田寺町の歴史文化に触れる機会をつくり、文化振興、観光に資するため、金谷山のレリヒ像を制作した彫刻家の戸張幸男をクローズアップし、11月23日から25日に寺町3丁目の大蔵寺において作品展を開催したほか、同氏の彫刻作品集を制作し市立図書館等に配布した。	小林古径記念美術館	372～373
16	文化と文化施設を使った交流促進事業	ミュージアムファンクラブ	220	186	34	文化と文化施設の活用により住民の交流促進を図り、高田市のミュージアムが更に多くの住民から親しまれ、住み続けたいまちづくりに寄与するため、小林古径記念美術館を会場に7月29日、同美術館の雁木のライトアップと各種文化体験等を行ったほか、8月5日に同美術館のイベントと連携して縁日を開催し、文化施設に親しみきっかけを提供した。	小林古径記念美術館	372～373
17	地域の名所巡りと次世代啓発事業	南本町小学校区まちづくり協議会	556	530	26	地域の歴史、名所等を次世代へ伝承し、地域観光の推進、歴史保存や地域愛護の市民意識高揚を図るため、南本町小学校区内の旧跡や名所15か所を紹介するパンフレット3,000枚及び紹介動画を制作し、校区内の9町内会等に配布したほか、10月28日に名所めぐりを実施し、地域住民の理解の促進するとともに、散策コースとして広く発信した。	文化行政課	376～377
18	見る・知る・伝える「甕れ高田城」郷土史家植木宏氏と巡る城下町高田の紹介発信事業	高田城復元ネットワーク	2,032	1,930	102	高田城の素晴らしさを市民が再認識し、高田城や高田城址公園が更に多くの人から愛されること等を目的に、城下町高田の旧町名ガイドブックを制作し、郷土歴史家の案内による現地見学会を10月から11月にかけて4回開催したほか、その動画記録を制作し、2月23日に完成発表会及び郷土歴史家による講演会を開催した。	文化行政課	376～377
19	松平忠輝公と五郎八姫の会事業	松平忠輝公と五郎八姫の会	45	44	1	歴史・文化の保全に役立たせるとともに、城下町高田の魅力を高め、賑わいと元気が出るまちづくりに寄与するため、居多神社（6月2日）並びに五智国分寺（10月13日）で現地学習会を開催したほか、8月と1月に松平忠輝公と五郎八姫ゆかりの地を紹介するパネル展を開催し、城下町高田の魅力を発信した。	文化行政課	376～377
計 19件			9,994	8,316	1,678			

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
新道区								
1	稲田むすぶフェスティバル	稲田むすぶプロジェクト	1,044	878	166	住民が主体的に地域づくりを考え、活動を通じて達成感を見いだすことを目的に、7月1日に河川敷でのクリーン活動、10月4日に「稲田むすぶフェスティバル」を実施した。クリーン活動では近隣企業の有志を含め約100人が参加したほか、フェスティバルでは中高生などのボランティアがイベントを運営するなど、地域一丸となって取り組むことができた。	地域政策課	162～163
計 1件			1,044	878	166			
金谷区								
1	平山で花&夢いっぱい咲かせよう運動事業	平山町内会環境整備部	248	237	11	地域の幅広い世代の交流促進と景観美化を図るため、4月から10月にかけて、花の植栽や防草シート貼り、草刈り等の花壇整備を計8回実施し、延べ135人が作業に参加した。地域住民が一体となって取り組んだ結果、これまで以上に親睦や融和が深まるとともに、夏から秋まできれいな花々で地域を彩ることができた。	都市整備課	148～149
2	滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業	滝寺まちづくり協議会	265	230	35	地域の自然環境や歴史・文化の維持・保全活動を通じて、住民間の交流を図るため、4月から1月にかけて、ミズバショウ自生地の保護・育成、毘沙門堂周辺及び参道の整備活動等を実施した。また、定期的に活動内容を掲載した会報を発行し、住民間の交流を深めた。	地域政策課	162～163
3	金谷若者まちづくり参画事業	上越若者みらい会議	1,136	977	159	金谷区の若い世代の交流促進と地域の観光資源の利用促進のため、5月と8月に南葉高原キャンプ場でニジマス釣りイベント、6・8・12・3月に金谷山公園等でフリーマーケットを中心とした金谷山フェスを開催した。イベントの開催を通じて、南葉高原キャンプ場及び金谷山公園の魅力発信と利用促進につなげることができた。	地域政策課	162～163
4	ミニ新聞「まめでやったけえ」発行継続および活用によるきずな拡大事業	「まめ」新聞有志会	93	93	0	地域内外における交流促進と生きがいの創出を図るため、地域住民が自ら執筆、編集、頒布まで一連の作業を行い、それぞれの思いや情報を共有するための新聞を計5回発行した。新聞発行と発行後の読書会等の開催を通じて、地域住民と地域外の方との交流が活発に行われ、地域の活性化につなげることができた。	地域政策課	162～163
5	正善寺ダム周辺の紫陽花の維持管理及び水質保全と環境美化事業	正善寺紫陽花会	93	93	0	ダム公園としての景観保持と観光振興のため、6月から10月にかけて、正善寺ダム周辺と沿線の紫陽花の維持管理、不法投棄ごみの回収作業及び紫陽花のライトアップ等を実施し、延べ76人が作業に参加した。これにより、市内外からの来訪者に豊かな自然を感じてもらうことができた。	生活環境課	244～245
6	キャンプ体験教室 地域観光事業	金谷地区振興協議会	101	77	24	金谷区の観光資源である南葉高原キャンプ場の魅力の発信と利用促進につなげるため、テントの設営、撤去、食事の炊炊きなどを学ぶキャンプ体験教室を10月14日に開催し、62人が参加した。地域外からの参加者もあり、また訪れたいとの声も聞かれるなど、南葉高原キャンプ場の魅力を発信することができた。	農林水産整備課	282～283
計 6件			1,936	1,707	229			
春日区								
1	安全に安心して暮らせるまちづくり事業	春日山町防犯パトロール隊	251	250	1	防犯、防火、環境美化及び子どもと高齢者を見守るため、のぼり旗の掲出や、冬期間を除き通年で住民による防犯パトロール活動等を実施した。地域の安全・安心の確保に寄与したほか、活動を通じて近隣の住民同士の交流が図られた。	市民安全課	130～131
2	御館川リバーサイド環境美化事業	大豆町内会	141	114	27	春日山に隣接するエリアの景観の向上を目的に、5月から11月にかけて住民による花壇整備や観光客をきれいな環境で迎え入れるためのクリーン活動等を実施した。春日山城跡の入口となる地域の環境美化につながったほか、活動を通じて住民同士の交流促進が図られた。	都市整備課	148～149
3	いきいき春日野ふれあいコンサート事業	いきいき春日野ふれあいコンサート実行委員会	236	161	75	地域住民によるまちづくり活動を推進するため、地域と学校との交流イベント「第17回いきいき春日野ふれあいコンサート」を6月11日に上越文化会館で開催した。実行委員会形式で事業を運営したことにより、自主性が高まったほか、地域と大学との連携が強まり、交流が一層幅広く、活発となった。	地域政策課	162～163
計 3件			628	525	103			

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
諏訪区								
1	芳澤謙吉翁顕彰事業	芳澤謙吉翁顕彰会	421	418	3	地元出身の外交官、芳澤謙吉への関心と理解を深めるため、7月22日に芳澤記念館で茶会、諏訪地区公民館で講演会を開催し、延べ90人が参加したほか、研修会の開催や講演記録集の作成・配布等を行った。	文化振興課	152～153
2	“明日の上越・諏訪を創る会” 未楽来すわ事業	未楽来すわ	476	475	1	地域の魅力と環境の素晴らしさを発信するため、地域の宝であるはさ木や和みの八本桜の保全活動を実施したほか、町内会等の団体の協力で地域一帯にヒマワリを咲かせたことにより、地域の魅力を高めることができた。	地域政策課	162～163
3	諏訪の里づくり協議会事業	諏訪の里づくり協議会	1,398	1,255	143	住民の融和を図り、連帯感を強化するため、秋祭り等のイベントや住民参加の各種教室の開催、ホームページによる地域情報の発信に取り組んだ。様々な取組を通じて、住民同士の交流が促進されたとともに、にぎわいが創出され、地域の活力向上につながった。	地域政策課	162～163
4	移住促進諏訪の会活動事業	移住促進諏訪の会	83	82	1	区内の定住人口の増加を図るため、11月20日に先進事例の視察研修、3月16日に移住促進フォーラムを実施したほか、チラシやSNSを通じて地域の魅力を発信した。移住者の受入れ実績はなかったが、住民の地域に対する愛着の醸成に寄与することができた。	多文化共生課	164～165
5	すわっ子わくわく事業	すわっ子クラブ	577	566	11	子どもたちの健全育成や住民の郷土愛を醸成するため、学校の長期休業期間を始め、年間を通じて、二貫寺の森での野外活動や各種教室等を実施した。子どもから大人まで延べ632人の参加があり、地域全体で子どもたちを見守り、育む意識を共有することができた。	社会教育課	358～359
計 5件			2,955	2,796	159			
津南区								
1	前島密翁歿碑祭101周年事業	前島密翁歿碑祭実行委員会	772	714	58	前島密翁の偉業を称え、住民の郷土愛を醸成するため、7月1日に前島記念館において、第101回前島密翁歿碑祭と直木賞作家の門井慶喜氏による講演会を開催した。歿碑祭の知名度の向上はもとより、前島記念館の来館者の増加にも寄与することができた。	文化振興課	152～153
2	津南区パンフレット作成及び活用事業	市 (提案団体：津南区地域協議会)	564	564	—	地域の良さを住民に理解してもらい、地域活性化につなげるため、関係団体等と連携し、見どころを紹介するパンフレットを3,300部作成し、全戸配布を行った。さらに、11月にはこのパンフレットを活用したバスツアーを2回開催したほか、スタンプラリーも随時実施し、地域の再認識や再発見につながる機会を提供した。	地域政策課	162～163
3	ゲートボールによる高齢者の健康増進と地域の憩いの場づくり事業	戸野目公園芝ゲートボール場運営委員会	130	128	2	高齢者を始めとした住民の健康増進に役立てるため、4月から12月まで芝ゲートボール場の環境づくりを行った。また、10月25日には上越地域ゲートボール大会(76人参加)を開催するなど、交流機会の創出とコミュニケーションの活性化に寄与することができた。	高齢者支援課	200～201
4	上越市防災士会津有支部安心安全事業	上越市防災士会津有支部	40	38	2	地域の防災力向上と意識高揚を図るため、10月29日に、中越市民防災安全士会から会長と副会長を招き、「中越地震の教訓を地域活動に活かす」をテーマに講演会を開催し、34人が参加した。自助、共助の取組により、地域の防災力を向上することの必要性を再確認することができた。	市民安全課	330～331
5	児童の地域お宝発見・地域住民ふれあい事業	上雲寺小学校最寄会	152	151	1	児童の地域教育の成果を地域に周知するため、4月から11月まで写真の収集や原稿作成を行い、地域連携カレンダーを作成し、12月に保護者及び町内会へ配布した。これにより、児童の地域への愛着の形成とともに、地域で子どもを育てる連帯感の醸成につなげることができた。	社会教育課	358～359
計 5件			1,658	1,595	63			
三郷区								
1	三郷のバス停を花で飾ろう事業	三郷花を楽しむ会	87	86	1	地域住民の交流促進と景観美化を図るため、6月から11月にかけて、プランターの花植え作業を2回実施し、延べ23人が参加した。花植え作業を通じて、地域住民の世代間交流の促進につながった。	都市整備課	148～149

区名		事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
	2	さんごう仲間づくり事業	ENJOY35	89	54	35	地域住民の交流促進と健康の増進を図るため、7月から3月にかけて、地域ボランティアと小学生による雑巾プロジェクトやフリーマーケット、料理講座等を実施し、延べ86人が参加した。それぞれの企画において、様々な年代の住民の参加があり、世代間の交流を深めることができた。	地域政策課	162～163
	3	高齢者支援・交流事業（「買い物ツアー」の実施）	三郷まちづくり振興会	138	125	13	高齢者の買い物支援と相互交流を促進するため、7月から3月にかけて、買い物ツアーを3回実施し、延べ30人が参加した。買い物ツアーを通じて、参加者の交流が深まるとともに、健康と福祉の増進につなげることができた。	高齢者支援課	202～205
	4	三郷地区の歴史・史跡を研究する事業	三郷地区の歴史・史跡を研究する会	212	212	0	地域住民の歴史・史跡に関する意識の高揚を図り、歴史資源をいかした地域づくりにつなげるため、越後国分寺推定地と伝えられる場所の地中探査、ジオラマ制作等を実施し、延べ165人が参加した。活動を通じて、地域住民の連携が深まるとともに、地域への愛着を高めることができた。	文化行政課	376～377
	5	郷土芸能無形文化財「春駒」の伝承事業	三郷まちづくり振興会	806	796	10	三郷区の郷土芸能無形文化財「春駒」を伝承するため、教材用の音楽CD作成や民謡踊り教室等を開催した。5回開催した民謡踊り教室は、小学生から高齢者まで幅広い世代の参加があり、「春駒」の伝承活動を推進することができた。	文化行政課	376～377
	計 5件			1,332	1,273	59			
和田区									
	1	上越妙高駅賑わいづくり環境整備事業	上越妙高駅と共に歩む会	484	483	1	上越妙高駅利用者に当地のおもてなしや義の心を届けるとともに、主要イベント等にいざない、賑わいと交流の推進を図るため、上越妙高駅の自由通路等18か所に通年デザインののぼり旗3種類、加えて観運会、観桜会の開催時にはPRののぼり旗を30か所に設置したほか、のぼり旗の設置・撤去時には、ゴミ拾い等美化活動を行った。	観光振興課	294～295
	2	今泉城跡の大ケヤキ保護活用事業	上越妙高駅と共に歩む会	298	297	1	地域の宝である今泉城跡の大ケヤキを保護・活用し、地域住民の意識高揚、誇りや一体感の醸成を図るとともに、賑わいや交流の促進に寄与するため、5月から11月にかけて大和神社境内の木陰に鑑賞・休憩施設並びに大ケヤキの周辺12か所にのぼり旗を設置し、併せて5月28日及び8月27日に清掃・美化活動を行った。	文化行政課	376～377
		計 2件		782	780	2			
高士区									
	1	交通事故のない安全安心なまちづくり事業	上越交通安全協会高士支部	405	405	0	地域の交通安全を確保するため、春と秋の全国交通安全週間に合わせて、小中学校の登校時間に地区内7か所において立哨活動及びのぼり旗の設置を行った。各町内会の協力を得て、延べ168人が参加し、児童・生徒への注意喚起や通行車両への安全運転の意識啓発を図った。	市民安全課	144～145
	2	地区だより「たかし」発行事業	高士地区振興協議会	223	192	31	住民の地域活動への関心を高めるため、区内の団体からも編集委員として参画してもらい、毎月25日に地区広報紙を500部発行することにより、各団体の様々な活動内容を一元的に発信、PRすることができた。	地域政策課	162～163
	3	ふるさと高士まつり開催事業	高士地区振興協議会	469	382	87	地域のにぎわいを創出し、まちづくりや活性化を図るため、8月20日に高士小学校において「ふるさと高士まつり」を開催した。屋外子どもイベント会場を始め出店ブース等を設けたことにより、約350人の参加があり、世代間交流や地域の絆を深めることができた。	地域政策課	162～163
	4	高齢者の安全な暮らし支援事業	ひとふさの会	271	133	138	高齢者が孤独を感じることなく、健康的に暮らせるよう、各町内会による見守り活動等のほか、8月から11月にかけて交流会を毎月実施し、高齢者の交流促進を図った。さらに、弁当の配達サービスを毎月1回行い、配達時に声掛けを合わせて行ったことで、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進することができた。	高齢者支援課	196～197
	5	高士地区お買い物ツアー事業	高士地区婦人会	109	89	20	閉じこもりがちで移動手段が限られる高齢者に対し、買い物支援と交流機会を創出するため、6月から3月までに8回、買い物ツアーを実施した。買い物の補助及び自宅までの送迎等を行ったことにより、住民同士のコミュニケーションを活性化させることができた。	高齢者支援課	202～205

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)	
直江津区	6	「食」を通じた地域づくり事業	高新会	18	9	9	地域で収穫される食材を学び、地域全体の食文化をレベルアップさせるため、3月に学習会を開催した。同じ食材を様々な調理方法で料理する技術を学ぶとともに、地域へ周知したことにより、地域全体で「食」の楽しさを共有するとともに、地産地消の促進に寄与することができた。	農政課	272～273
	7	「雪まつり（キャンドルイベント）」開催による地域交流・地域活性化事業	高士地区雪まつり実行委員会	2,424	2,389	35	地域の魅力を発信し、知名度を上げるとともに、住民の団結力を高めるため、2月24日に岩の原葡萄園及び高士地区多目的研修センターにおいて「高士雪まつり」を開催した。花火や蔵ツアー、光の広場、高士マルシェによる「ふるまい」等を行い、地域の活性化と魅力の向上を図ることができた。	観光振興課	294～295
	8	地域の宝 稲谷【だんとうの大杉】保存事業	稲谷【だんとうの大杉】保存会	860	760	100	歴史継承の大切さを学ぶとともに住民間の交流を図るため、10月7日にだんとうの大杉の落枝防止・剪定枝処理作業を住民が行った。さらに、2月25日には作業の報告及び今後の予定を踏まえた勉強会を開催し、憩いの場づくりを通じて地域の助け合いの精神を育むことができた。	文化行政課	376～377
	計 8件			4,779	4,359	420			
直江津区									
直江津区	1	クリーンナップ上越 in 五智事業	ひまわり會	516	510	6	地域住民の環境への関心を高め、環境美化を図るため、海岸線（市道五智居多ヶ浜シーサイドライン線）で植栽及び清掃活動を行うとともに、国府小学校の児童の協力を得て作成したゴミ捨てマナー啓発看板を植栽箇所に設置した。	都市整備課	148～149
	2	直江津のグランドデザインを描く事業	直江津プライド2021	607	606	1	「三八朝市の未来」と「屋台会館の活用」を考える2つのテーマについて、市民参加による計4回のワークショップを実施するとともに、検討結果の発表会及び市民意見交換会を1月27・28日に行うことで、多くの意見を集約した「直江津まちづくり提言書」をまとめることができた。	地域政策課	162～163
	3	福永十三郎顕彰・四十物祭事業	まちおこし直江津	682	680	2	直江津の歴史的な偉人福永十三郎翁の遺徳を偲ぶ「四十物祭」を三八朝市と連携を図りながら11月18日に実施し、福永十三郎翁の商榷復活の尽力を再確認したほか、当時の直江津の歴史と多彩な食文化を来場者と共有することができた。	地域政策課	162～163
	4	直江津写真フェア事業	上越写真連盟	397	334	63	直江津の魅力を見直し・発信するため「撮って発見 直江津の魅力」をテーマにした写真コンテストを開催するとともに、12月2・3日及び1月27・28日に応募作品の展示を行い、直江津の魅力を発見・発信するとともに、写真文化の広がりと深まりを増すことができた。	観光振興課	294～295
	5	交流と賑わいによる「みなとまちづくり」事業	直江津港周辺活性化協議会	1,656	888	768	直江津港を拠点としたまちの活性化を図るため、佐渡汽船ターミナルを会場に、寒ぶりの解体やあんこうの吊るし切りショー、市内学生によるステージイベント等を行う「寒ぶりまつり」を12月10日に実施し、直江津港周辺のPRに努めることができた。	産業立地課	318～319
	6	五智公園の整備、有効活用事業	五智公園を育てる会	226	225	1	五智公園の価値や魅力を一層高めていくことを目的に、公園の植生の改善及び希少植物の保護、紹介パネルの展示、リーフレットの配布等を行うことで、五智公園の魅力を周知することができた。	都市整備課	320～323
計 6件			4,084	3,243	841				
有田区									
有田区	1	R350花壇整備事業	350同友会	213	213	0	国道350号沿線の花壇の植栽や草取りを行い、花壇を美しく整備することで、沿道を通行する地域住民の憩いの場とすることができた。	都市整備課	148～149
	2	有田地区いきいき支援事業	有田福祉の会	570	570	0	65歳以上を対象とした体操講座等を行う高齢者サロンを71回、生後1か月から2歳頃の親子を対象とした、絆づくりを促進する子育てサロンを18回、未就学児の親子を対象とした、親子で楽しめる講座等を5回実施し、高齢者の介護予防及び子育て世代の居場所づくりを支援することができた。	高齢者支援課	200～201
	3	直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業	直江津東地域学園運営協議会	651	650	1	直江津東中学校区における小・中学生の自立や、若手リーダーの育成等を地域全体で支援するために、地域の企業や中学校の卒業生、地域住民の協力を得て、小・中学生が地域の先輩等から学ぶ機会を設けたほか、立志式等を実施することで、地域の大人との関わりから多くのことを学ぶとともに、地域に誇りを持つ機会とすることができた。	学校教育課	338～339

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
4	有田地区体育・レクリエーション事業	有田地区体育・レクリエーション協会	550	549	1	町内対抗で6月18日に親善輪投げ大会、7月9日にソフトバレーボール大会を実施するとともに、10月8日に有田地区を6ブロックに分けて競う「有田地区体育大会」の開催を通じ、地域の活性化、親睦、世代間の交流が図られた。	スポーツ推進課	382～383
計 4件			1,984	1,982	2			
八千浦区								
1	やちほ文化展はまぐみ市事業	八千浦地区明るい町づくり協議会	164	163	1	地域住民の交流、にぎわいの創出を図るため、住民の創作活動の発表と地域文化の再発見を目指す「やちほ文化展」を11月3・4日に開催し、併せて地域特産品や農産物等のPRを行う「はまぐみ市」(フリーマーケット)を11月3日に開催し、約350人が来場した。地元企業からの出展協力もあり、住民と企業関係者との交流や、子どもと大人の世代間交流が図られた。	地域政策課	162～163
2	八千浦地区活性化・青少年育成事業「八千浦地区海まつり」	海まつり実行委員会	958	957	1	地域住民の融和や将来を担う次世代の郷土愛の醸成と協働の精神を培うため、八千浦区の地域資源である海に親しむ「海まつり」を9月2日に開催し、住民と小・中学生、保護者が、当日までの企画・運営など様々な活動を通して触れ合うなど、次世代が積極的に地域活動に協力することで地域の一体感が高まった。	地域政策課	162～163
計 2件			1,122	1,120	2			
保倉区								
1	安全安心なまちづくり「見守り活動」事業	保倉地区防犯連絡協議会	295	206	89	防犯・事故防止と地区内外へのアピールにつなげるため、保倉小学校児童、直江津東中学校生徒の登下校時のほか高齢者等の外出時の見守り活動を実施した。地域内統一のパトロールコート、合図棒を使用し約210日活動したことにより、地域全体の安全・安心感を高め、また、児童・生徒と挨拶を交わすなど、地域全体で子どもを育てる機運を醸成することができた。	市民安全課	144～145
2	保倉地区環境美化事業	保倉まちづくり振興会	346	345	1	保倉地域の環境美化や住民同士の交流を推進し、地域の活性化を図るため、保倉地区町内会、保倉小学校、保倉保育園、保倉地区公民館等の花壇や公園等に、5月27日、住民が花苗4,520鉢を植栽し管理を行った。各町内等で水やり、草取りを行い、花を通して住民が交流し、地域に憩いと交流の場ができた。	都市整備課	148～149
3	直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業	直江津東地域学園運営協議会	172	172	0	直江津東中学校区における小・中学生の自立や、若手リーダーの育成等を地域全体で支援するために、地域の企業や中学校の卒業生、地域住民の協力を得て、小・中学生が地域の先輩等から学ぶ機会を設けたほか、立志式等を実施することで、地域の大人との関わりから多くのことを学ぶとともに、地域に誇りを持つ機会とすることができた。	学校教育課	338～339
4	青野「剣の舞」復活事業	青野芸能保存会	73	72	1	青野地区の郷土芸能「剣の舞」を復活・伝承し、地域住民の親睦と地域活性化を図るため、講話や練習風景等の記録及び地域の子どもたちへの指導など伝承・保存活動を行った。9月から12月は週に1回保倉小学校児童へ舞を指導したことで、児童は10月21日、12月20日発表会の場で披露できるまで舞を習得し、将来の後継者の育成に寄与した。	文化行政課	376～377
計 4件			886	795	91			
北諏訪区								
1	北諏訪を花で飾る事業	北諏訪まちづくり振興会	100	98	2	北諏訪区の環境美化、連帯感の醸成、まちづくりに対する意識高揚を図るため、スイセンの球根を各町内や小学校、保育園等へ配布し、住民が協力して植栽することにより、コミュニティの団結・融和を促進するとともに、地域の環境美化に貢献した。	都市整備課	148～149
2	北諏訪区地域の魅力PR事業	北諏訪まちづくり振興会	152	145	7	北諏訪区の魅力となる歴史・文化・スポーツ行事などの情報を広く周知するため、「北諏訪だより」を年4回発行し、地域の一体感を醸成するとともに、まちづくり活動への地域住民の参画が図られた。	地域政策課	162～163
3	地域探訪ウォーキング事業	北諏訪まちづくり振興会	41	40	1	北諏訪区内の公共施設や芳澤記念公園をウォーキングして訪れる「地域探訪ウォーキング」を9月16日に実施し、地域の魅力再発見と、住民同士の親睦や健康増進が図られた。	地域政策課	162～163

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)	
	4	地域コミュニティ活性化事業	北諏訪まちづくり振興会	372	371	1	今回で27回目となる「まつりっち in 北諏訪」を10月14日に実施し、チンドン屋や太鼓の演奏等のステージイベントに加え、子ども達やすこやかサロン参加者等が作成したランタンを灯す催し等を行うことで、地域住民の世代を超えた交流と親睦が図られ、地域の活性化につながった。	地域政策課	162～163
	5	「さくらの学校」を地域で守り支える事業	北諏訪地区学校後援会	769	538	231	北諏訪小学校のシンボルである「桜」に関する学習会や、桜の手入れ、植樹を行うとともに、11月3日に地域の方も参加した講演会の開催を通じて、地域コミュニティの核となる北諏訪小学校を守り支えていく意識の高揚を図った。	学校教育課	334～337
	6	直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業	直江津東地域学園運営協議会	58	58	0	直江津東中学校区における小・中学生の自立や、若手リーダーの育成等を地域全体で支援するために、地域の企業や中学校の卒業生、地域住民の協力を得て、小・中学生が地域の先輩等から学ぶ機会を設けたほか、立志式等を実施することで、地域の大人との関わりから多くのことを学ぶとともに、地域に誇りを持つ機会とすることができた。	学校教育課	338～339
計 6件			1,492	1,250	242				
谷浜・桑取区									
	1	谷浜・桑取区のガイドマップ作成事業	谷浜地域づくり協議会	381	380	1	谷浜・桑取区への来訪者を始め多くの方々に分かりやすく地域の見どころをPRするため、ガイドマップを増刷し、地元8旅館・民宿を始め区内外に配布した。また、ガイドマップに掲載されている場所を巡る「ガイドマップ巡り」(お宝さがし)を10月7日に実施し、区外からの参加を含めた23人へ地域を知る機会を提供し、地域の魅力PRに努めた。	観光振興課	294～295
	2	城ヶ峰砦・長浜砦の景観保全事業	谷浜地域づくり協議会	1,279	1,275	4	谷浜地域の歴史遺産、観光資源として城ヶ峰砦・長浜砦を継承・PRするため、5月から10月にかけて地域のボランティアを募りながら、両砦周辺の散策道整備や案内看板の設置、草刈り等を行った。カタクリ見学会(4月8日)、狼煙上げ(8月20日)には地域住民から計51名の参加があり、一般の散策者数の増につながった。	文化行政課	376～377
	3	里神楽伝承による地域の元氣創造事業	桑谷里神楽伝承会	583	543	40	地域の伝統芸能である桑谷地区の里神楽を継承するため、子ども里神楽練習会を6回、小学校の総合学習での練習12回のほか、伝承用資料を作成した。9月23日「月満夜の里神楽」では250人が来場する中、大人の演者と同じ舞台で子どもが舞を披露し、地域への愛着と誇りの醸成を図るとともに地域を担う人材の育成・確保につながった。	文化行政課	376～377
計 3件			2,243	2,198	45				
安塚区									
	1	やすづか「小さな祭り」開催事業	特定非営利活動法人 NPO雪のふるさと安塚	681	640	41	各種体験教室やコンサート等の実施をとおして、地域内外からの来訪者に各活動団体の活動内容を知ってもらうため、9月30日から10月9日の間に雪だるま物産館や雪中貯蔵施設「ユキノハコ」、リバーサイドロードなどの各会場でイベントを開催し、各活動団体の意欲向上と地域の魅力発信につながった。	農村振興課	268～271
	2	山のうえの雪まつり事業	山のうえの雪まつり実行委員会	2,500	950	1,550	地域住民が自らのアイデアと行動により安塚区の中核的な拠点であるキュービッドパレイスキー場を活用することで交流人口の増加と地域の活性化を図るため、安塚キャンドルロードの開催と併せ、2月24日に雪上花火や山のうえトライアスロン、雪像づくりなどを行い、交流人口の増加や地域の活性化に寄与することができた。	観光振興課	294～295
	3	山のうえ真夏の雪まつり事業	山のうえの雪まつり実行委員会	1,342	939	403	安塚における「通年観光」の実現に資するため、スキー場の閑散期である真夏の8月26日に「雪室の雪」を活用した、雪山の創出や真夏の雪合戦、テントサウナ体験などのイベントを開催し、交流人口の増加に寄与することができた。	観光振興課	294～295
計 3件			4,523	2,529	1,994				
浦川原区									
	1	第14回浦川原和太鼓祭	特定非営利活動法人 保倉川太鼓	840	690	150	日本古来の「和太鼓」を通じ、日本の伝統文化と和の心を浦川原区から発信することで、「人と地域が元氣なまち」にするため「第14回浦川原和太鼓祭」を開催し、和太鼓文化の伝承・継承に寄与した。	文化振興課	152～153

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
2	うらがわら雪あかりフェスタ事業	うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会	161	161	0	灯の回廊の一環として、「うらがわら雪あかりフェスタ」を開催するとともに、その見どころや茶屋など、来場者に楽しんでいただけるポイントやシャトルバスの運行ルートに掲載した「おでかけマップ」や誘導看板を作成し、誘客に寄与する取組を行った。	観光振興課	294～295
3	うらスポマラソン大会開催事業	特定非営利活動法人 うらがわらスポーツクラブ	1,067	325	742	参加ランナー、スタッフ、沿道でのボランティアなど、関わる住民がそれぞれ体力づくりや地域力の向上を意識づける機会として、「うらスポマラソン大会」を開催し、体力や精神を鍛え、仲間づくりの機会を与えることと、地域の教育力の資質向上に寄与した。	スポーツ推進課	382～383
計 3件			2,068	1,176	892			

大島区

1	あぜ道ほたる・夢灯り in ほたるの里事業	大島地区振興協議会	603	550	53	ほたるが舞う自然豊かな大島地区の魅力を活用し、ほたるが飛び交う季節に田の畔にろうそくを灯す「あぜ道ほたる・夢灯り」及び上越教育大学吹奏楽部による「“自然上輝け、ほたるの光で”音楽ライブ」を6月17日に開催し、予想を上回る来場者があり、地域のにぎわいが創出された。	地域政策課	162～163
2	地域の宝を活かした「薬師 R e : P r o j e c t」地域活性化事業	細越平生会	962	960	2	5月から10月にかけて当地域の里山である「薬師山道」の整備を行い、9月3日から9月30日に「ブナの森美術館」、3月2日に「ユキノアかり」を開催し、イベントを継続して実施したことにより、当地域の新たな価値・魅力を発信することができた。	観光振興課	294～295
計 2件			1,565	1,510	55			

牧区

1	川上山里の風コンサート事業	川上地区協議会	692	413	279	地域の宝物として維持管理している「川上会館」（旧川上小学校校木造体育館、国登録有形文化財）を活用し「川上山里の風コンサート」を10月7日に開催したことで、地域の活力維持と郷土愛を育むことができた。また、来場者へ山間地の現状と魅力を発信し交流人口増加へつなげることができた。	文化振興課	152～153
2	つながりと地域愛を育む情報発信事業	特定非営利活動法人 牧振興会	256	179	77	区内でのつながりと関係人口の増加につなげるため、NPO法人牧振興会のホームページ（ブログ）やインスタグラムを活用し、年間を通して牧区における暮らしと住民の様子を発信した。	地域政策課	162～163
3	地域活性化促進事業（まき深山のともしび）	牧区地区協議会連絡会議	788	787	1	賑わいを創出するとともに地域の魅力を発信し区内外に交流の輪を広げるため、冬の一大イベントである「灯の回廊」を牧区全体の手作りイベント「まき深山のともしび」として2月17日に開催した。	観光振興課	294～295
4	沖見地区観光拠点づくり事業	レストハウス「けやき」周辺整備の会	296	295	1	沖見地区の玄関口である「ふるさと村自然と憩の森」を地域の観光拠点とするため、7月から11月にかけて花の植栽や遊歩道の整備を行うとともに、案内看板作成、PRホームページを作成し、区内外からの誘客を図った。	観光振興課	298～299
5	「うたって・おどって・みて」楽しい暮らしを応援事業	牧文化協会	74	73	1	生涯学び続けることの楽しさを伝え、文化活動参加者及び鑑賞者の裾野を広げることを目的に、牧文化協会主催による「夢まつり」を牧コミュニティプラザ、牧体育館において7月8日、9日に開催した。	社会教育課	358～359
6	宮口古墳公園・遊歩道維持管理事業	市（提案団体：宮口古墳花の会）	385	385	—	宮口古墳公園の花壇での花植えを中心に美化活動を実施したことにより、高齢者の憩いの場や若者家族のあそびの場としての利用が高まった。	文化行政課	376～377
7	郷土芸能伝承・保存事業	牧文化協会	243	242	1	往時の様子をうかがえるDVDの作成を通して、古くから伝えられてきた郷土芸能（盆踊りの古代詞、ヨイヤナ等）を次世代へ継承することで地域への愛着を高めるほか、伝承活動と合わせ、記録保存活動に取り組んだ。	文化行政課	376～377
計 7件			2,734	2,374	360			

柿崎区

1	黒川黒岩ふれあい事業	16ピース	2,184	1,266	918	地域住民と出身者との交流促進、相互が一体となり地域を支え守ろうとする地域コミュニティの醸成を図るため、4月から11月にかけて旧黒川小学校跡地の草刈りとグラウンド沿いのフラワールードの整備、8月12日に黒川黒岩ふれあいまつり、10月8日に米山古道の散策と遺跡めぐりを実施し、地域活性化の足掛かりとなった。	地域政策課	162～163
---	------------	-------	-------	-------	-----	---	-------	---------

区名		事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
	2	柿崎時代夏まつり「下黒川地区夏まつり」事業	柿崎時代夏まつり「下黒川地区夏まつり」実行委員会	1,446	1,266	180	地域の一体感や郷土愛を醸成するため、5月16日に郷土の伝統芸能「十三夜」の伝承に向けた講習会を開催し、8月20日に下黒川地区夏まつり、9月24日にふるさとウォーキング、3月2日に河川美化作業等年間を通じた活動に取り組み、若者や子どもたちへ伝統文化を継承するとともに、ふるさとを愛する心の育成に寄与した。	地域政策課	162～163
	3	かきざき湖八重桜広場の八重桜の植樹事業	ガンバ米山	499	398	101	地域住民の交流促進と地域の賑わいを創出するとともに、市民の大切な水瓶である柿崎川ダムの良好な水源環境を維持するため、6月から11月にかけて、かきざき湖八重桜広場における八重桜の手入れ、草刈りを行い、11月3日に30本の八重桜を植樹した。また、4月29日には観桜会を開催し、地域住民の交流を深めることができた。	河川海岸砂防課	316～317
	4	第6回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展	手しごと・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会	551	440	111	柿崎区にある浄善寺本堂を会場として、9月15日から9月17日の3日間、作品展を開催した。作品展会場には出展者20人の作品を展示し、900人以上に鑑賞していただき、ものづくり文化の伝承と世代間交流の促進を図ることができた。今回、新たに体験コーナーを設け、9月16日に「ポーセラーツ」、9月17日に「苔玉づくり」を来場者に体験していただいた。	社会教育課	358～359
	計 4件			4,680	3,370	1,310			
大潟区									
	1	大潟区散策ルート作成事業	まちづくり大潟、市	1,215	1,208	7	地域の名所を紹介できる人材を育成し、交流人口の拡大を図るため、犀潟駅前の看板の更新と名所旧跡の新たな標識看板を設置し、地元住民だけでなく他地区や市外の人々に犀潟の歴史を再認識してもらうことができた。さらに、大潟区内で2番目の散策ルートを作成し、観光資源として活用され、人口交流が増えた。大潟コミュニティプラザや市の公共施設に散策ルートマップを設置し配布し、その存在を広く知らせることで散策ルートが一層活用された。	観光振興課	294～295
	2	鶴の浜温泉色彩音楽花火事業	鶴の浜温泉観光組合	5,512	3,774	1,738	鶴の浜温泉の誘客や地域住民の活力向上を図るため、鶴の浜温泉の名物である「色彩音楽花火」を中心としたイベントを実施し、宿泊施設の宿泊者数の増、地域住民との関係の強化に寄与した。	観光振興課	294～295
	計 2件			6,727	4,982	1,745			
頸城区									
	1	頸城線植栽モデル事業	くびき花の会	241	239	2	季節の花が咲く通学路、ポケットパークの整備により、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け地域の一体感の醸成と景観の向上を図るため、6月から7月にかけて頸城線歩道内の植樹帯8mの間に頸城区推奨の花をモデル的に植栽し、管理を行った。	都市整備課	148～149
	2	坂口記念館の特色を活かした講座事業	特定非営利活動法人 くびき来夢ネット	37	22	15	坂口記念館を活用し、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け地域住民の郷土愛を育むため、坂口鐘一郎博士を顕彰する事業として、2月2日に「さかきん発酵鍋づくり」、3月16日に「塩麹づくり体験」を開催し、計26人の参加があった。	文化振興課	154～155
	3	花の苗成事業	市（提案団体：特定非営利活動法人 くびき来夢ネット）	323	323	—	季節の花が咲く通学路、ポケットパークの整備により、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け地域の一体感の醸成と景観の向上を図るため、坂口記念館を拠点に挿し木講座を6月22日、7月2日、10月1日、10月7日に開催し、計61人の参加があった。また、頸城区推奨の花の挿し木を育て、11月3日のくびき文化祭において無料配布を実施した。	文化振興課	154～155
	4	外国人居住者を含めた南川地区大規模防災訓練と交流会事業	南川振興会	46	32	14	「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け、地域防災力の向上と地域住民と外国人市民の相互理解を図るため、2年に1度実施している大規模な防災訓練に外国人市民を雇用している企業からの参加を得て、南川地区大規模防災訓練と交流会事業を10月15日に開催し、500人の参加があった。	多文化共生課	158～159
	5	外国人居住者が参加するファーマーズマーケット事業	南川振興会、特定非営利活動法人 頸城区観光協会	1,628	1,400	228	「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け、地域住民と外国人市民の相互理解を図るため、外国人市民も参加するファーマーズマーケットを7月8日、9日に開催し、2,000人の参加があり、国際交流の場を設け、地域住民、行政や関連企業と連携を図る機会を設けた。	多文化共生課	158～159

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
	6	特定非営利活動法人 くびきのお宝のこす会、市 (提案団体：特定非営利活動法人 くびきのお宝のこす会)	1,158	1,144	14	「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け交流人口の増加を図るため、旧頸城鉄道の車両を動態保存し、5月から11月にかけてくびき野レールパーク一般公開などを行うとともに、団体からの要請に応じて随時公開を行った。また、レールパーク開設15周年記念事業として記念式典、シンポジウム、写真展を11月11日に開催し、計2,661人の参加があった。	地域政策課	162～163
	7	大池のキャンプ場を活かし、遊歩道から山城巡回を楽しむ事業 雁金城跡保存会	953	953	0	大池・小池をいかした観光振興策の実施により、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け交流人口の拡大を図るため、大池キャンプ場利用者をターゲットに大池側からの登山道の整備を6月4日、7月2日、8月6日に実施し、狼煙台の眺望を案内する看板の設置及び、腐食した木製の椅子の交換を行った。あわせて、8月19日に謙信公祭の狼煙上げに参加し、公民館事業「頸北カレッジ 歴史講座」を9月15日に開催した。	観光振興課	294～295
	8	大池の四季を感じる散策ツアー事業 市 (提案団体：特定非営利活動法人 頸城区観光協会、特定非営利活動法人 くびき里やま学校)	424	424	—	大池・小池をいかした観光振興策の実施により、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け交流人口の拡大を図るため、四季を通じて身近な大池の自然を体験する散策ツアーを5月、6月、7月、10月、11月、3月に開催し、計72人の参加があった。また、遊歩道の樹木への名札取付を実施した。	観光振興課	294～295
	9	大池いこいの森施設運営事業 特定非営利活動法人 頸城区観光協会	5,330	3,230	2,100	大池・小池をいかした観光振興策の実施により、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け交流人口の増加を図るため、4月から11月、3月中旬から下旬にかけてビジターセンターを拠点にキャンプ場の維持管理を行うとともに、6月から11月の大池・小池環境整備、4月、6月、12月にイベントを開催し、計36人の参加があった。	観光振興課	302～305
計 9件			10,140	7,767	2,373			
吉川区								
	1	チェコ共和国との文化交流事業 夢をかなえる会	1,049	1,022	27	吉川区出身でチェコ共和国を拠点に活躍するピアニストやチェコフィルハーモニー楽団の演奏家などが吉川小学校、中学校等で、講演や演奏会を計画どおり行った。児童生徒に、将来への夢や希望を与え、地域への誇りを感じてもらうことができ、また、地域住民に、芸術性の高い音楽・演奏に触れる機会を提供することができた。	文化振興課	152～153
	2	吉川観光重点2地区活性化推進事業 吉川観光協会	2,296	2,288	8	計画どおり、尾神岳エリア、道の駅よしかわ杜氏の郷エリアでのイベントやPRを行うことができた。尾神岳エリアでの「山の上ライブ」や「尾神岳天岩戸伝説記念講演会」、「尾神そば早食い大会」、道の駅よしかわ杜氏の郷での「道の駅フェスティバル」といったイベントでは、多くの人から来場いただくとともに、尾神岳や道の駅を始めとする吉川区の観光資源の発信ができたと考ええる。	観光振興課	294～295
	3	長峰城址保存活用事業 越後長峰城保存会	1,159	1,116	43	計画どおり、立て札や説明看板を設置することによる見学コースの整備や、植栽などによる魅力向上を図ることができ、また、見学会の開催により、地域の歴史への理解の深まりや、PRを図ることができた。	文化行政課	376～377
計 3件			4,504	4,426	78			
中郷区								
	1	小さな地域で始める共生のまちづくり 一般社団法人中郷区さとまる学校	1,160	1,013	147	誰もが相互に人格や個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を認め合う地域の実現を図るため、区内行事を記載した共生カレンダーを小学校6年生と作成し配布するとともに、11月25日に共生ステージ「華響」、12月2日に共生フェスタを開催し、計580人の来場があった。	多文化共生課	140～141
	2	つなげるコミュニティ区内巡回ツアー運営事業 市 (提案団体：中郷区地域協議会)	1,886	1,886	—	コミュニティづくり、生きがいづくり、子どもの居場所づくりなどにつながる活動を促すとともに、将来的な乗合タクシーの利用増や利便性の向上にもつなげるため、貸切タクシーを使った区内巡回ツアーを計18回実証実験として運行し、延べ102人の参加があった。	地域政策課	162～163
	3	第5回二本木駅鉄道まつり 中郷商工会	3,360	3,200	160	郷土愛の醸成や地域の一体感の醸成を図るとともに、交流人口の増加に寄与するため、第5回二本木駅鉄道まつりを駅前商店街、二本木駅構内において9月16日に開催し、800人の来場があった。	地域政策課	162～163

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
4	中郷区高齢者いきいき支援事業	中郷区老人クラブ連合会	1,242	786	456	高齢者へ学びのきっかけづくりの場を提供することにより、仲間づくりや健康づくり、生きがいづくりを包含した住みやすい地域づくりを目指すため、6月から3月にかけてクラフト体験、7月6日、9月29日にグラウンドゴルフ大会、3月13日、14日にノルディックウォーキング体験、7月13日、14日、3月13日、14日に自身体力検定の4つの取組を実施し、延べ548人の参加があった。	高齢者支援課	200～201
5	「こ食」解消で健康な身体づくり事業	一般社団法人中郷区さとまる学校	458	231	227	孤食、子食、個食、固食、小食、濃食、粉食などの「こ食」に起因する栄養不足や肥満などの生活習慣病のリスクを回避するため、市保健師による「こ食」の講話と地域に伝わる料理を提供する「さとまる食堂」に加え、学習時間や体験メニュー等を取り入れた「令和の寺子屋」、「自然体験」を7月26日、8月2日、8月9日、8月16日、8月23日に実施し、スタッフを含む延べ350人の参加があった。	健康づくり推進課	232～235
6	放置空き家・危険空き家の発生予防	市（提案団体：一般社団法人中郷区さとまる学校）	132	132	—	放置空き家や危険空き家の増加を予防するため、一般社団法人中郷区さとまる学校（総合事務所2階）に、1級空き家管理士及び空き家相談士の専門家が相談にのる窓口を常設し、計22件の相談があり、3月9日に空き家セミナーを開催し、15人の参加があった。	建築住宅課	324～327
7	アートでまちおこしプロジェクト	生涯学習フェスティバル実行委員会（提案団体：一般社団法人中郷区さとまる学校）	—	—	—	関係者のスケジュールが合わず、事業中止	社会教育課	—
8	「縄文の郷 中郷」の具現化	縄文学校、市（提案団体：縄文学校）	473	401	72	「縄文の郷 中郷」の具現化とPR、地域の魅力向上、次世代指導者の育成を図るため、補助事業として5月から11月にかけて堅穴式住居の復元作業、先進地視察、縄文体験イベントを実施し、延べ81人の参加があった。また、委託事業として、6月から2月にかけて縄文について座学、実技により学ぶ「縄文講座」を開催し、延べ140人の参加があった。	文化行政課	376～377
9	団体結成20周年記念事業	中郷ジュニアXCスキー育成会	167	116	51	クロスカントリースキーを通じ郷土愛の育成や地域の絆を深めてきた活動が20年の節目を迎えたことから、これまで支えてくれた地域への感謝の想いを共有し、今後の活動につなげるため、はとびあ中郷において11月18日に学校体育の分野に精通した講師を迎え、講演会を開催し、30人の参加があった。	スポーツ推進課	382～383
計 8件			8,878	7,765	1,113			

板倉区

1	板倉区の史跡文化財を広め交流人口の増加を狙う事業	いたくら文化研究会	652	613	39	板倉区内の歴史文化、偉人のほか商店など、楽しく板倉めぐりができるスタンプラリー形式のマップを作成しスタンプラリーを開催した結果、延べ約1,000人が参加したほか、板倉ゆかりの2人の偉人展（増村朴齋展令和5年9月開催、中村十作展令和6年3月開催）を開催したことにより、交流人口の拡大と板倉区の魅力を発信することができた。	文化振興課	152～153
2	地域に残る伝説の紙芝居作成事業	寺野玉手箱グループ	169	168	1	地元小学校の子どもたちと協力して、板倉区関田に残る「百体観音」の伝説の紙芝居を作成し、次世代を担う子どもたちの郷土愛の醸成を図ったほか、令和6年3月に小学校や団体の集まりにて紙芝居の上演を3回行い、板倉区の歴史、文化を広めていくことができた。	文化振興課	152～153
3	板倉区のゆるキャラ「いたくらけいと」PR事業	特定非営利活動法人 板倉まちづくり振興会	307	306	1	板倉区のゆるキャラ「いたくらけいと」の住民への認知度を更に高めるため、板倉まちづくり振興会等が保有する車両ヘラッピングや貸出用マグネットを作成しPRに努めた。「いたくらけいと」のキャラクターデザインは人気が高く、地域の諸団体や企業から使用許可の依頼が来ているなど、地域の愛すべきキャラクターとして定着してきている。	地域政策課	162～163
4	筒方地区活性化事業	どうがた倶楽部、一般財団法人 ぬしんの里観光公社	552	377	175	蕎麦打ち職人育成講座を計11回開催し、延べ102人が参加したことから、蕎麦の食文化と知識の伝承のほか、蕎麦打ちの技術の継承が図られた。フォトコンテストは応募数50点があり、旧筒方小学校や板倉コミュニティプラザを会場に写真展を2回開催、延べ約600人が来場し、地域の魅力をPRすることができた。	地域政策課	162～163

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
5	ベース・キャンプ in 光ヶ原高原事業	光ヶ原高原ファン倶楽部	2,457	2,030	427	6月17日から10月23日にかけて光ヶ原高原キャンプ場の運営を行うとともに、8月26日に光ヶ原高原センター周辺でのバギー乗車体験、連風揚げ、薪割火起こし体験、テントサウナなどのイベントを開催し、7月から9月にかけて光ヶ原高原センター周辺での景観整備、ひまわりなどを作付けを行い誘客を図った。	観光振興課	300～301
6	いたくら里山彩花事業	みどりやすらぎグループ	938	888	50	4月22日から5月7日の期間でいたくら芝桜まつりを開催し、約1万人の来場があった。開催にあたり看板や花壇柵の設置、こいのぼりの掲揚等、地域の方と連携を図ったほか、SNS等で発信を行い、成功につながった。来場者が板倉区の他のスポットに訪れるなど観光・経済の波及効果もあり、地域活性化も図ることができた。	観光振興課	304～307
計 6件			5,075	4,382	693			

清里区

1	坊ヶ池交流施設運営管理事業	一般社団法人 檜池農業振興会、市 (提案団体：一般社団法人 檜池農業振興会)	3,976	3,976	0	地域の活性化を図るため、ビュー京ヶ岳では、5月から11月の土日祝日を中心に年間71日間の営業を行い、恒例の新そばまつりを11月12日に開催するとともに、関連イベントである「ソバの日(11月18日、19日)」と合わせ約700人の入館者があり、地域農産物の販売促進、交流人口の拡大、中山間地域の活性化に寄与することができた。また、平日では研修会場としての星のふるさと館の利用者約60人が昼食をビュー京ヶ岳でとるなど、新たな客層の広がりがあった。	地域政策課	162～163
2	地域交流促進事業	きよさと観光交流協会	205	100	105	清里区の地域資源や歴史文化資源を活用した、ふるさと史跡探訪ツアー3回、ブナの森ハイク1回を開催し、第1回ふるさと史跡探訪ツアーでは募集定員を上回る参加があり、交流人口の拡大と坊ヶ池周辺施設の活性化に寄与することができた。また、当該団体も含む関係団体が地域活動支援事業で作成した「坊ヶ池周辺散策マップ」を公民館事業に提供するとともに、当該事業に協力するなど、市民交流活動を通じ、住民福祉の向上と地域振興を図ることができた。	地域政策課	162～163
3	こども朝市開催事業	一般社団法人 檜池農業振興会	116	73	43	清里小学校6年生の児童が総合学習の取組として、(一社)檜池農業振興会などの関係団体と協力し、チラシの作成や出店者の募集など、5月から11月までの第3水曜日にコミュニティプラザ駐車場車庫を会場に朝市を開催し、賑わいを創出することができた。また、出店者は最終的に16事業者となり、児童が収穫した米も販売され、児童はお客の呼び込みや販売を手伝うなど、来店者や出店者、地域住民と交流することで、地元への愛着心の醸成につながった。	農村振興課	266～269
4	スターフェスティバル2023事業	天文指導協力委員会	635	619	16	星のふるさと館を会場に、8月13日から15日の3日間、スターフェスティバル2023を開催し、帰省者や旅行者を始め、市内を中心に期間中約660人の来館者があり、地域の活性化や観光PRにつながった。また、探査衛星「はやぶさ」を実際に運用した元JAXA職員の天文講演会を始め、プラネタリウム室内で星空や宇宙空間を投影したままヴァイオリンを演奏するコンサートを行ったほか、天文工作教室など、様々な催しを設けることで幼児から大人まで、幅広い年齢層からの参加者を集めることができた。	社会教育課	360～361
計 4件			4,932	4,768	164			

三和区

1	三和ふれあい食堂事業	三和ふれあい食堂運営委員会	480	240	240	食を通じて地域の世代間交流を図るため、子どもから高齢者まで地域住民が気軽に集える「三和ふれあい食堂」を年5回開催し、スタッフを含め延べ444人の参加があった。「三和ふれあい食堂」が地域コミュニティの場となり、児童・生徒同士の交流はもとよりスタッフとのかかわりも生まれたことから世代間交流の促進にもつながった。	こども家庭センター	206～207
---	------------	---------------	-----	-----	-----	--	-----------	---------

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
2	谷内池の環境保全とオニバス再生プロジェクト事業	三和の自然と地域を育む会	3,423	3,414	9	オニバスを繁殖させる取組を進めるとともに、地域が一体となって谷内池周辺の環境整備や維持管理を行った。 谷内池ではオニバスの開鎖花が確認でき、人工池（プール）では多数の開花があり、種子採取もできた。 オニバスの繁殖活動と環境整備を継続して行っているため、多くの方に谷内池の魅力を伝えることができた。また、三和中学校の生徒等と活動と一緒にやったことにより、地域の宝である谷内池とオニバスの存在を再発見してもらうことができた。	環境政策課	248～249
3	谷内池周辺の遊歩道整備事業	市	2,793	2,793	—	県自然環境保全地域に指定されている谷内池の自然を楽しめるように、ベンチとテーブルを設置して休憩場所を整備したほか、遊歩道を改修し、誰もが安全に谷内池の自然を楽しめる環境を整えた。	環境政策課	248～249
4	さんわ桜の陣事業	さんわ桜の陣実行委員会	1,081	806	275	三和区が誇る桜と食の魅力を広く発信するとともに、地域経済の好循環を生み出すため、区内の事業者と区内外の住民が交流を深める「さんわ桜の陣2023イベント」を開催した。区内外から多くの方々に来場・参加いただき、交流人口が拡大し、地域商工業の活性化につなげることができた。	産業政策課	290～291
5	灯火のイベント事業	三和の自然と地域を育む会	365	365	0	「灯の回廊」事業に初参画し、関係団体と行政との協働イベントとして、イルミネーションの設置や灯籠などを製作した。 子どもたち等の参画により地域住民のつながりを深めるとともに、区内外から多くの方々に来場いただき、交流人口の拡大につながった。	観光振興課	294～295
6	三和の子どもたちの健やかな成長を支援する事業	特定非営利活動法人さんわスポーツクラブ	900	838	62	中学校部活動への指導者派遣と体験会により小中学生が様々なスポーツを体験する機会を提供することができた。また、地域の子どもは地域で育てるという機運を高めることができた。	スポーツ推進課	382～383
計 6件			9,042	8,456	586			

名立区

1	子どもたちの平和学習推進事業	市	50	50	—	大勢が犠牲となった名立漁港機雷爆破事件を末永く伝え、平和や戦争について考える機会の提供を目的に、3月10日に講演会を実施し50人の参加があった。広島平和記念館を訪問した中学生による報告や市民団体の講演等を通し、命の尊さや平和の大切さを地域全体で考えることができた。また、2月28日から3月9日まで、名立・平和を願う日パネル展を開催した。	多文化共生課	126～127
2	名立駅マイ・ステーション作戦事業	名立駅マイ・ステーション作戦実行委員会	181	180	1	名立駅の利用促進と地域活性化を図るため、名立駅クリーン作戦と題して8月6日と10月15日にクリーン活動を実施した。また、10月15日に「駅からウォーキング」を開催し26人の参加があった。このほか、クリスマスイベントやトキ鉄開業9周年イベント、たよりの発行を行ったことで、年間を通して名立駅を活用した地域活性化を行うことができた。	交通政策課	142～143
3	いきいきサロン運営事業	名立区いきいきサロン運営協議会	708	338	370	高齢者の閉じこもり防止や健康維持、介護予防を目的に、名立区内8地区で年間86回のサロンを開催し、延べ637人の利用があった。また、名立区全域を対象とした「まちなかサロン」を立ち上げ、年3回開催し延べ38人の参加があり、高齢者の居場所づくりや交流推進の環境整備を進めることができた。	高齢者支援課	200～201
4	中山間地域再生可能エネルギー導入先行研究事業	名立区再生可能エネルギー研究会	101	53	48	小水力発電や再生可能エネルギーの導入に向け、「中山間地域の振興を図る小水力発電」をテーマとした学習会を9月7日に開催し、15人の参加があった。また、12月8日は先進地視察として13人で富山県への視察を実施したことで、小水力発電を通じた脱炭素社会づくりの推進を図ることができた。	環境政策課	244～245
5	名立区農山村活性化対策事業	市	109	109	—	地域活性化に賛同する農業者、農産加工グループ、農業関係団体、区内事業者等が、行政と共に名立区で作付面積が増加している中山間地域振興作物のそばを活用した「そばまつり」を11月25日、26日の二日間開催し、そば館の利用促進と地域の賑わい創出・魅力向上及び名立区産そばの知名度向上につなげることができた。	農村振興課	264～265

区名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	担当課	決算書 (ページ)
6	水源保護地域の森活用事業	輝く里不動の会	264	263	1	地域の誇り、愛着の醸成を図るため、市内最大級の水源地区である不動地区のブナ林を会場とした「みずの森フェスティバル」を10月22日に開催し、130人の参加を得て、炭焼き体験やキノコの駒打ち体験等を行った。また、12月3日には農林業を生業としてきた不動地区の変遷などの研究結果を学ぶ学習会を開催し、25人が参加した。	農林水産整備課	278～279
7	雪を活かしたまちづくり推進事業	輝く里不動の会	158	157	1	雪をいかした冬期間のまちづくりを進め、区内の一体感の醸成や賑わいを創出するため、不動地区を会場として2月24日に「不動ミニキャンドルロード」を開催し、500人の来場があったほか、区内外から70人のスタッフ及びボランティアが参加し、雪像の制作等を行ったことで、冬の名立区の魅力を広く発信することができた。	観光振興課	294～295
8	名立ウォーキングツーリズム事業	ふるさと名立のくらしと文化伝統を語り継ぐ会	230	229	1	うみてらす名立を起終点としたまちなか回遊による交流人口の拡大を図るため、手書きイラストの「名立いいところ巡りウォーキングマップ」を3,000部作成し、地域の魅力を発信した。また、「名立宿の魅力再発見」と題した講演会及び古文書等の展示会を10月22日に開催し、35人の参加を得ることができた。	観光振興課	294～295
9	名立区の魅力を創造し発信する事業	特定非営利活動法人 名立の100年後を創造する会	531	516	15	名立区の魅力を市内外へ発信するため、名立谷浜IC前の景観整備、宇山を紹介するチラシの発行、謙信公祭に合わせた狼煙上げ、写真コンテスト及び展示会等、年間を通して事業を展開した。写真コンテストには区内外から44点の応募、また11月18日、19日に開催した写真の展示会では76人の来場があり、名立区の魅力を広くPRすることができた。	観光振興課	294～295
計 9件			2,332	1,895	437			
総計			145件	104,119	88,217	15,902		

令和5年度地域独自の予算事業 常任委員会別事業一覧表

※実施主体と提案団体が異なる場合は、「実施主体」欄に括弧書きで提案団体名を記載している。

※「自己負担額」欄には、補助事業における実施団体の自己負担額を記載しており、市の直営事業の場合、「－」を記載している。

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
厚生常任委員会									
健康福祉部									
1	高齢者の安全な暮らし支援事業	ひとふさの会	271	133	138	高齢者が孤独を感じることなく、健康的に暮らせるよう、各町内会による見守り活動等のほか、8月から11月にかけて交流会を毎月実施し、高齢者の交流促進を図った。さらに、弁当の配食サービスを毎月1回行い、配達時に声掛けを合わせて行ったことで、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進することができた。	高士区	高齢者支援課	196～197
2	ゲートボールによる高齢者の健康増進と地域の憩いの場づくり事業	戸野日公園芝ゲートボール場運営委員会	130	128	2	高齢者を始めとした住民の健康増進に役立てるため、4月から12月まで芝ゲートボール場の環境づくりを行った。また、10月25日には上越地域ゲートボール大会（76人参加）を開催するなど、交流機会の創出とコミュニケーションの活性化に寄与することができた。	津有区	高齢者支援課	200～201
3	有田地区いきいき支援事業	有田福祉の会	570	570	0	65歳以上を対象とした体操講座等を行う高齢者サロンを71回、生後1か月から2歳頃の親子を対象とした、絆づくりを促進する子育てサロンを18回、未就学児の親子を対象とした、親子で楽しめる講座等を5回実施し、高齢者の介護予防及び子育て世代の居場所づくりを支援することができた。	有田区	高齢者支援課	200～201
4	中郷区高齢者いきいき支援事業	中郷区老人クラブ連合会	1,242	786	456	高齢者へ学びのきっかけづくりの場を提供することにより、仲間づくりや健康づくり、生きがいづくりを包含した住みやすい地域づくりを目指すため、6月から3月にかけてクラフト体験、7月6日、9月29日にグラウンドゴルフ大会、3月13日、14日にノルディックウォーキング体験、7月13日、14日、3月13日、14日に自立体力検定の4つの取組を実施し、延べ548人の参加があった。	中郷区	高齢者支援課	200～201
5	いきいきサロン運営事業	名立区いきいきサロン運営協議会	708	338	370	高齢者の閉じこもり防止や健康維持、介護予防を目的に、名立区内8地区で年間86回のサロンを開催し、延べ637人の利用があった。また、名立区全域を対象とした「まちなかサロン」を立ち上げ、年3回開催し延べ38人の参加があり、高齢者の居場所づくりや交流推進の環境整備を進めることができた。	名立区	高齢者支援課	200～201
6	高齢者支援・交流事業（「買い物ツアー」の実施）	三郷まちづくり振興会	138	125	13	高齢者の買い物支援と相互交流を促進するため、7月から3月にかけて、買い物ツアーを3回実施し、延べ30人が参加した。買い物ツアーを通じて、参加者の交流が深まるとともに、健康と福祉の増進につなげることができた。	三郷区	高齢者支援課	202～205
7	高士地区お買い物ツアー事業	高士地区婦人会	109	89	20	閉じこもりがちで移動手段が限られる高齢者に対し、買い物支援と交流機会を創出するため、6月から3月までに8回、買い物ツアーを実施した。買い物物の補助及び自宅までの送迎等を行ったことにより、住民同士のコミュニケーションを活性化させることができた。	高士区	高齢者支援課	202～205
8	「こ食」解消で健康な身体づくり事業	一般社団法人中郷区さとまる学校	458	231	227	孤食、子食、個食、固食、小食、濃食、粉食などの「こ食」に起因する栄養不足や肥満などの生活習慣病のリスクを回避するため、市保健師による「こ食」の講話と地域に伝わる料理を提供する「さとまる食堂」に加え、学習時間や体験メニュー等を取り入れた「令和の寺子屋」、「自然体験」を7月26日、8月2日、8月9日、8月16日、8月23日に実施し、スタッフを含む延べ350人の参加があった。	中郷区	健康づくり推進課	232～235
こども・子育て部									
1	地域であんしん子どもへの暴力防止事業	CAP・じょうえつ	174	142	32	子どもたちが地域のつながりの中で安心して過ごせる環境づくりを推進するため、5月から2月にかけて市内幼稚園等において計10回のワークショップを実施したほか、相談カード4種類3,000枚、広報誌500枚を作成し小学校等で配布、また朝市等でのPR活動を5月から3月にかけて計17回行い、子どもの人権啓発を呼び掛けた。	高田区	こども家庭センター	206～207

常任委員会名		事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
	2	三和ふれあい食堂事業	三和ふれあい食堂運営委員会	480	240	240	食を通じて地域の世代間交流を図るため、子どもから高齢者まで地域住民が気軽に集える「三和ふれあい食堂」を年5回開催し、スタッフを含め延べ444人の参加があった。 「三和ふれあい食堂」が地域コミュニティの場となり、児童・生徒同士の交流はもとよりスタッフとのかかわりも生まれたことから世代間交流の促進にもつながった。	三和区	こども家庭センター	206～207
	3	三世代雁木フェスティバルとふれあい事業	南三世代交流プラザ運営協議会	687	513	174	世代間交流並びに南三世代交流プラザの利用促進、地域住民の健康福祉を促進するため、8月5日及び12月23日に三世代交流のつどいを開催したほか、9月24日には南本町3丁目の雁木通りを会場に三世代雁木フェスティバルを開催し、地域の小中学校や町内会、商店街等からの協力を得ながら地域の元気を発信することができた。	高田区	こども家庭センター	218～219
環境部										
	1	中山間地域再生可能エネルギー導入先行研究事業	名立区再生可能エネルギー研究会	101	53	48	小水力発電や再生可能エネルギーの導入に向け、「中山間地域の振興を図る小水力発電」をテーマとした学習会を9月7日に開催し、15人の参加があった。また、12月8日は先進地視察として13人で富山県への視察を実施したことで、小水力発電を通じた脱炭素社会づくりの推進を図ることができた。	名立区	環境政策課	244～245
	2	正善寺ダム周辺の紫陽花の維持管理及び水質保全と環境美化事業	正善寺紫陽花会	93	93	0	ダム公園としての景観保持と観光振興のため、6月から10月にかけて、正善寺ダム周辺と沿線の紫陽花の維持管理、不法投棄ごみの回収作業及び紫陽花のライトアップ等を実施し、延べ76人が作業に参加した。これにより、市内外からの来訪者に豊かな自然を感じてもらうことができた。	金谷区	生活環境課	244～245
	3	谷内池の環境保全とオニバス再生プロジェクト事業	三和の自然と地域を育む会	3,423	3,414	9	オニバスを繁殖させる取組を進めるとともに、地域が一体となって谷内池周辺の環境整備や維持管理を行った。 谷内池ではオニバスの開花が確認でき、人工池（プール）では多数の開花があり、種子採取もできた。 オニバスの繁殖活動と環境整備を継続して行っているため、多くの方に谷内池の魅力を伝えることができた。また、三和中学校の生徒等と活動を一緒に行ったことにより、地域の宝である谷内池とオニバスの存在を再発見してもらうことができた。	三和区	環境政策課	248～249
	4	谷内池周辺の遊歩道整備事業	市	2,793	2,793	—	県自然環境保全地域に指定されている谷内池の自然を楽しめるように、ベンチとテーブルを設置して休憩場所を整備したほか、遊歩道を改修し、誰もが安全に谷内池の自然を楽しめる環境を整えた。	三和区	環境政策課	248～249
計 15件				11,377	9,648	1,729				
農政建設常任委員会										
農林水産部										
	1	名立区農山村活性化対策事業	市	109	109	—	地域活性化に賛同する農業者、農産加工グループ、農業関係団体、区内事業者等が、行政と共に名立区で作付面積が増加している中山間地域振興作物のそばを活用した「そばまつり」を11月25日、26日の二日間開催し、ろばた館の利用促進と地域の賑わい創出・魅力向上及び名立区産そばの知名度向上につなげることができた。	名立区	農村振興課	264～265
	2	こども朝市開催事業	一般社団法人榊池農業振興会	116	73	43	清里小学校6年生の児童が総合学習の取組として、（一社）榊池農業振興会などの関係団体と協力し、チラシの作成や出店者の募集など、5月から11月までの第3水曜日にコミュニティプラザ駐車場車庫を会場に朝市を開催し、賑わいを創出することができた。また、出店者は最終的に16事業者となり、児童が収穫した米も販売され、児童はお客様の呼び込みや販売を手伝うなど、来店者や出店者、地域住民と交流することで、地元への愛着心の醸成につながった。	清里区	農村振興課	266～269
	3	やすづか「小さな祭り」開催事業	特定非営利活動法人 NPO雪のふるさと安塚	681	640	41	各種体験教室やコンサート等の実施をとおして、地域内外からの来訪者に各活動団体の活動内容を知ってもらうため、9月30日から10月9日の間に雪だるま物産館や雪中貯蔵施設「ユキノハコ」、リバーサイドロードなどの各会場イベントを開催し、各活動団体の意欲向上と地域の魅力発信につながった。	安塚区	農村振興課	268～271
	4	「食」を通じた地域づくり事業	高新会	18	9	9	地域で収穫される食材を学び、地域全体の食文化をレベルアップさせるため、3月に学習会を開催した。同じ食材を様々な調理方法で料理する技術を学ぶとともに、地域へ周知したことにより、地域全体で「食」の楽しさを共有するとともに、地産地消の促進に寄与することができた。	高士区	農政課	272～273

常任委員 会名		事 業 名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
	5	水源保護地域の 森活用事業	輝く里不動産の会	264	263	1	地域の誇り、愛着の醸成を図るため、市内最大級の 水源地である不動地区のブナ林を会場とした 「みずの森フェスティバル」を10月22日に開催 し、130人の参加を得て、炭焼き体験やキノコの 駒打ち体験等を行った。また、12月3日には農林 業を生業としてきた不動地区の変遷などの研究結 果を学ぶ学習会を開催し、25人が参加した。	名立区	農林水産整 備課	278～279
	6	キャンプ体験教 室 地域観光事 業	金谷地区振興協 議会	101	77	24	金谷区の観光資源である南葉高原キャンプ場の魅 力の発信と利用促進につなげるため、テントの設 営、撤去、食事の煮炊きなどを学ぶキャンプ体験 教室を10月14日に開催し、62人が参加した。地域 外からの参加者もあり、また訪れたいとの声も聞 かれるなど、南葉高原キャンプ場の魅力を発信す ることができた。	金谷区	農林水産整 備課	282～283
都市整備部										
	1	平山で花＆夢 いっぱい咲かせ よう運動事業	平山町内会環境 整備部	248	237	11	地域の幅広い世代の交流促進と景観美化を図るた め、4月から10月にかけて、花の植栽や防草シー ト貼り、草刈り等の花壇整備を計8回実施し、延 べ135人が作業に参加した。地域住民が一体と なって取り組んだ結果、これまで以上に親睦や融 和が深まるとともに、夏から秋まできれいな花々 で地域を彩ることができた。	金谷区	都市整備課	148～149
	2	御館川リバーサ イド環境美化事 業	大豆町内会	141	114	27	春日山に隣接するエリアの景観の向上を目的に、 5月から11月にかけて住民による花壇整備や観光 客をきれいな環境で迎えるためのクリーン活動 等を実施した。春日山城跡の入口となる地域の 環境美化につながったほか、活動を通じて住民同 士の交流促進が図られた。	春日区	都市整備課	148～149
	3	三郷のバス停を 花で飾ろう事業	三郷花を楽しむ 会	87	86	1	地域住民の交流促進と景観美化を図るため、6月 から11月にかけて、プランターの花植え作業を2 回実施し、延べ23人が参加した。花植え作業を通 じて、地域住民の世代間交流の促進につながっ た。	三郷区	都市整備課	148～149
	4	クリーンナップ 上越 i n 五智事 業	ひまわり會	516	510	6	地域住民の環境への関心を高め、環境美化を図る ため、海岸線（市道五智居多ヶ浜シーサイドライ ン線）で植栽及び清掃活動を行うとともに、国府 小学校の児童の協力を得て作成したゴミ捨てマ ナー啓発看板を植栽箇所に設置した。	直江津区	都市整備課	148～149
	5	R350花壇整備 事業	350同友会	213	213	0	国道350号沿線の花壇の植栽や草取りを行い、花 壇を美しく整備することで、沿道を通行する地域 住民の憩いの場とすることができた。	有田区	都市整備課	148～149
	6	保倉地区環境美 化事業	保倉まちづくり 振興会	346	345	1	保倉地域の環境美化や住民同士の交流を推進し、 地域の活性化を図るため、保倉地区町内会、保倉 小学校、保倉保育園、保倉地区公民館等の花壇や 公園等に、5月27日、住民が花苗4,520鉢を植栽し 管理を行った。各町内等で水やり、草取りを行 い、花を通して住民が交流し、地域に憩いと交流 の場ができた。	保倉区	都市整備課	148～149
	7	北諏訪を花で飾 る事業	北諏訪まちづく り振興会	100	98	2	北諏訪区の環境美化、連帯感の醸成、まちづくりに 対する意識高揚を図るため、スイセンの球根を 各町内や小学校、保育園等へ配布し、住民が協力 して植栽することにより、コミュニティの団結・ 融和を促進するとともに、地域の環境美化に貢献 した。	北諏訪区	都市整備課	148～149
	8	頸城線植栽モデ ル事業	くびき花の会	241	239	2	季節の花が咲く通学路、ポケットパークの整備に より、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現 に向け地域の一体感の醸成と景観の向上を図るた め、6月から7月にかけて頸城線歩道内の植樹帯8 mの間に頸城区推奨の花をモデル的に植栽し、管 理を行った。	頸城区	都市整備課	148～149
	9	青田川桜木整備 と環境啓発事業	青田川を愛する 会	921	736	185	地域の宝である青田川の保存と景観づくりを通じ て市民の河川愛護意識の高揚を図るため、青田川 の桜並木の維持管理として枝払い、施肥等を行っ たほか、環境保全啓発ポスターを作成し流域19町 内会等に配布、8月19日には「青田川灯りの夕 べ」を開催し、堤防に1,000個の灯りを並べるな ど青田川を舞台に夏の思い出づくりに取り組ん だ。	高田区	河川海岸砂 防課	316～317
	10	かきざき湖八重 桜広場の八重桜 の植樹事業	ガンバ米山	499	398	101	地域住民の交流促進と地域の賑わいを創出すると ともに、市民の大切な水瓶である柿崎川ダムの良 好な水源環境を維持するため、6月から11月にか けて、かきざき湖八重桜広場における八重桜の手 入れ、草刈りを行い、11月3日に30本の八重桜を 植樹した。また、4月29日には観桜会を開催し、 地域住民の交流を深めることができた。	柿崎区	河川海岸砂 防課	316～317
	11	五智公園の整備 、有効活用事 業	五智公園を育て る会	226	225	1	五智公園の価値や魅力を一層高めていくことを目 的に、公園の植生の改善及び希少植物の保護、紹 介パネルの展示、リーフレットの配布等を行うこ とで、五智公園の魅力を周知することができた。	直江津区	都市整備課	320～323

常任委員 会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
12	雁木の景観保全と住民交流推進事業	南本町三丁目まちづくり協議会	476	440	36	雁木の町並み、文化を活用したまちづくりの推進、雁木の保全・再生や景観づくり等を図るため、8月9日に雁木フォーラムとして講演会を開催したほか、7月24日の雁木住民交流会では、おまつり広場や雁木の格子戸を利用した彫絵や木製行燈や竹燈籠を設置し、夜の雁木の景観を楽しみながら地域住民の交流と理解を促進した。	高田区	都市整備課	322～323
13	放置空き家・危険空き家の発生予防	市（提案団体：一般社団法人 中郷区さとまる学校）	132	132	—	放置空き家や危険空き家の増加を予防するため、一般社団法人中郷区さとまる学校（総合事務所2階）に、1級空き家管理士及び空き家相談士の専門家が相談にのる窓口を常設し、計22件の相談があり、3月9日に空き家セミナーを開催し、15人の参加があった。	中郷区	建築住宅課	324～327
計 19件			5,435	4,944	491				

文教経済常任委員会

教育委員会

1	「さくらの学校」を地域で守り支える事業	北諏訪地区学校後援会	769	538	231	北諏訪小学校のシンボルである「桜」に関する学習会や、桜の手入れ、植樹を行うとともに、11月3日に地域の方も参加した講演会の開催を通じ、地域コミュニティの核となる北諏訪小学校を守り支えていく意識の高揚を図った。	北諏訪区	学校教育課	334～337
2	直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業	直江津東地域学園運営協議会	881	880	1	直江津東中学校区における小・中学生の自立や、若手リーダーの育成等を地域全体で支援するために、地域の企業や中学校の卒業生、地域住民の協力を得て、小・中学生が地域の先輩等から学ぶ機会を設けたほか、立志式等を実施することで、地域の大人との関わりから多くのことを学ぶとともに、地域に誇りを持つ機会とすることができた。	有田区 保倉区 北諏訪区	学校教育課	338～339
3									
4									
5	すわっ子わくわく事業	すわっ子クラブ	577	566	11	子どもたちの健全育成や住民の郷土愛を醸成するため、学校の長期休業期間を始め、年間を通じて、二貫寺の森での野外活動や各種教室等を実施した。子どもから大人まで延べ632人の参加があり、地域全体で子どもたちを見守り、育む意識を共有することができた。	諏訪区	社会教育課	358～359
6	児童の地域お宝発見・地域住民ふれあい事業	上雲寺小学校最寄会	152	151	1	児童の地域教育の成果を地域に周知するため、4月から11月まで写真の収集や原稿作成を行い、地域連携カレンダーを作成し、12月に保護者及び町内会へ配布した。これにより、児童の地域への愛着の形成とともに、地域で子どもを育てる連帯感の醸成につなげることができた。	津有区	社会教育課	358～359
7	第6回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展	手しごと・手づくり柿崎・上越作品展実行委員会	551	440	111	柿崎区にある浄善寺本堂を会場として、9月15日から9月17日の3日間、作品展を開催した。作品展会場には出展者20人の作品を展示し、900人以上に鑑賞していただき、ものづくり文化の伝承と世代間交流の促進を図ることができた。今回、新たに体験コーナーを設け、9月16日に「ボーセラーズ」、9月17日に「苔玉づくり」を来場者に体験していただいた。	柿崎区	社会教育課	358～359
8	「うたって・おどって・みて」楽しい暮らしを応援事業	牧文化協会	74	73	1	生涯学び続けることの楽しさを伝え、文化活動参加者及び鑑賞者の裾野を広げることを目的に、牧文化協会主催による「夢まつり」を牧コミュニティプラザ、牧体育館において7月8日、9日に開催した。	牧区	社会教育課	358～359
9	スターフェスティバル2023事業	天文指導協力員会	635	619	16	星のふるさと館を会場に、8月13日から15日の3日間、スターフェスティバル2023を開催し、帰省者や旅行者を始め、市内を中心に期間中約660人の来館者があり、地域の活性化や観光PRにつながった。また、探査衛星「はやぶさ」を実際に運用した元JAXA職員の天文講演会を始め、プラネタリウム室内で星空や宇宙空間を投影したままヴァイオリンを演奏するコンサートを行ったほか、天文工作教室など、様々な催しを設けることで幼児から大人まで、幅広い年齢層からの参加者を集めることができた。	清里区	社会教育課	360～361
10	アートでまちおこしプロジェクト	生涯学習フェスティバル実行委員会（提案団体：一般社団法人 中郷区さとまる学校）	—	—	—	関係者のスケジュールが合わず、事業中止	中郷区	社会教育課	—
11	第40回上越美術協会展及び会場における“音楽会”と“まちなか美術館”事業	上越美術協会	254	90	164	上越地域の美術文化の振興を図るとともに、高田市街地の活性化に寄与するため、8月17日から20日にミューゼ小町を会場に「第40回上越美術協会展」及び同会場内で音楽会を開催し、会期後9月1日から30日には「まちなか美術館」として本町商店街店舗に希望の作品を貸し出し、地域美術の振興並びに本町通りに賑わいをもたらすことができた。	高田区	小林古怪記念美術館	372～373

常任委員 会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
12	戸張幸男作品展 並びに作品集事業	六人の会	610	603	7	高田区ゆかりの芸術家にスポットを当て、地域の芸術・高田寺町の歴史文化に触れる機会をつくり、文化振興、観光に資するため、金谷山のレルヒ像を制作した彫刻家の戸張幸男をクローズアップし、11月23日から25日に寺町3丁目の大蔵寺において作品展を開催したほか、同氏の彫刻作品集を制作し市立図書館等に配布した。	高田区	小林古径記念美術館	372～373
13	文化と文化施設を使った交流促進事業	ミュージアムファンクラブ	220	186	34	文化と文化施設の活用により住民の交流促進を図り、高田区のミュージアムが更に多くの住民から親しまれ、住み続けたいまちづくりに寄与するため、小林古径記念美術館を会場に7月29日、同美術館の雁木のライトアップと各種文化体験等を行ったほか、8月5日に同美術館のイベントと連携して縁日を開催し、文化施設に親しむきっかけを提供した。	高田区	小林古径記念美術館	372～373
14	地域の名所巡りと次世代啓発事業	南本町小学校区まちづくり協議会	556	530	26	地域の歴史、名所等を次世代へ伝承し、地域観光の推進、歴史保存や地域愛護の市民意識高揚を図るため、南本町小学校区内の旧跡や名所15か所を紹介するパンフレット3,000枚及び紹介動画を作成し、校区内の9町内会等に配布したほか、10月28日に名所めぐりを実施し、地域住民の理解の促進するとともに、散策コースとして広く発信した。	高田区	文化行政課	376～377
15	見る・知る・伝える「甞れ高田城」郷土史家植木宏氏と巡る城下町高田の紹介発信事業	高田城復元ネットワーク	2,032	1,930	102	高田城の素晴らしさを市民が再認識し、高田城や高田城址公園が更に多くの人から愛されること等を目的に、城下町高田の旧町名ガイドブックを制作し、郷土歴史家の案内による現地見学会を10月から11月にかけて4回開催したほか、その動画記録を制作し、2月23日に完成発表会及び郷土歴史家による講演会を開催した。	高田区	文化行政課	376～377
16	松平忠輝公と五郎八姫の会事業	松平忠輝公と五郎八姫の会	45	44	1	歴史・文化の保全に役立たせるとともに、城下町高田の魅力高め、賑わいと元気が出るまちづくりに寄与するため、居多神社（6月2日）並びに五智国分寺（10月13日）で現地学習会を開催したほか、8月と1月に松平忠輝公と五郎八姫ゆかりの地を紹介するパネル展を開催し、城下町高田の魅力を発信した。	高田区	文化行政課	376～377
17	三郷地区の歴史・史跡を研究する事業	三郷地区の歴史・史跡を研究する会	212	212	0	地域住民の歴史・史跡に関する意識の高揚を図り、歴史資源をいかした地域づくりにつなげるため、越後国分寺推定地と伝えられる場所の地中探査、ジオラマ制作等を実施し、延べ165人が参加した。活動を通じて、地域住民の連携が深まるとともに、地域への愛着を高めることができた。	三郷区	文化行政課	376～377
18	郷土芸能無形文化財「春駒」の伝承事業	三郷まちづくり振興会	806	796	10	三郷区の郷土芸能無形文化財「春駒」を伝承するため、教材用の音楽CD作成や民謡踊り教室等を開催した。5回開催した民謡踊り教室は、小学生から高齢者まで幅広い世代の参加があり、「春駒」の伝承活動を推進することができた。	三郷区	文化行政課	376～377
19	今泉城跡の大ケヤキ保護活用事業	上越妙高駅と共に歩む会	298	297	1	地域の宝である今泉城跡の大ケヤキを保護・活用し、地域住民の意識高揚、誇りや一体感の醸成を図るとともに、賑わいや交流の促進に寄与するため、5月から11月にかけて大和神社境内の木陰に鑑賞・休憩施設並びに大ケヤキの周辺12か所にのぼり旗を設置し、併せて5月28日及び8月27日に清掃・美化活動を行った。	和田区	文化行政課	376～377
20	地域の宝 稲谷【だんとうの大杉】保存事業	稲谷【だんとうの大杉】保存会	860	760	100	歴史継承の大切さを学ぶとともに住民間の交流を図るため、10月7日にだんとうの大杉の落枝防止・剪定枝処理作業を住民が行った。さらに、2月25日には作業の報告及び今後の予定を踏まえた勉強会を開催し、憩いの場づくりを通じて地域の助け合いの精神を育むことができた。	高士区	文化行政課	376～377
21	青野「剣の舞」復活事業	青野芸能保存会	73	72	1	青野地区の郷土芸能「剣の舞」を復活・伝承し、地域住民の親睦と地域活性化を図るため、講話や練習風景等の記録及び地域の子どもたちへの指導など伝承・保存活動を行った。9月から12月は週に1回保倉小学校児童へ舞を指導したことで、児童は10月21日、12月20日発表会の場で披露できるまで舞を習得し、将来の後継者の育成に寄与した。	保倉区	文化行政課	376～377
22	城ヶ峰砦・長浜砦の景観保全事業	谷浜地域づくり協議会	1,279	1,275	4	谷浜地域の歴史遺産、観光資源として城ヶ峰砦・長浜砦を継承・PRするため、5月から10月にかけて地域のボランティアを募りながら、両砦周辺の散策道整備や案内看板の設置、草刈り等を行った。カタクリ見学会（4月8日）、狼煙上げ（8月20日）には地域住民から計51名の参加があり、一般の散策者数の増につながった。	谷浜・桑取区	文化行政課	376～377

常任委員 会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
23	里神楽伝承による地域の元氣創造事業	桑谷里神楽伝承会	583	543	40	地域の伝統芸能である桑谷地区の里神楽を継承するため、子ども里神楽練習会を6回、小学校の総合学習での練習12回のほか、伝承用資料を作成した。9月23日「月満夜の里神楽」では250人が来場する中、大人の演者と同じ舞台上で子どもが舞を披露し、地域への愛着と誇りの醸成を図るとともに地域を担う人材の育成・確保につなげた。	谷浜・桑取区	文化行政課	376～377
24	宮口古墳公園・遊歩道維持管理事業	市 (提案団体：宮口古墳花の会)	385	385	—	宮口古墳公園の花壇での花植えを中心に美化活動を実施したことにより、高齢者の憩いの場や若者家族のあそびの場としての利用が高まった。	牧区	文化行政課	376～377
25	郷土芸能伝承・保存事業	牧文化協会	243	242	1	往時の様子をうかがえるDVDの作成を通して、古くから伝えられてきた郷土芸能(盆踊りの古代詞、ヨイヤナ等)を次世代へ継承することで地域への愛着を高めるほか、伝承活動と合わせ、記録保存活動に取り組んだ。	牧区	文化行政課	376～377
26	長峰城址保存活用事業	越後長峰城保存会	1,159	1,116	43	計画どおり、立て札や説明看板を設置することによる見学コースの整備や、植栽などによる魅力向上を図ることができ、また、見学会の開催により、地域の歴史への理解の深まりや、PRを図ることができた。	吉川区	文化行政課	376～377
27	「縄文の郷 中郷」の具現化	縄文学校、市 (提案団体：縄文学校)	473	401	72	「縄文の郷 中郷」の具現化とPR、地域の魅力向上、次世代指導者の育成を図るため、補助事業として5月から11月にかけて堅穴式住居の復元作業、先進地視察、縄文体験イベントを実施し、延べ81人の参加があった。また、委託事業として、6月から2月にかけて縄文について座学、実技により学ぶ「縄文講座」を開催し、延べ140人の参加があった。	中郷区	文化行政課	376～377
28	有田地区体育・レクリエーション事業	有田地区体育・レクリエーション協会	550	549	1	町内対抗で6月18日に親善輪投げ大会、7月9日にソフトバレーボール大会を実施するとともに、10月8日に有田地区を6ブロックに分けて競う「有田地区体育大会」の開催を通じ、地域の活性化、親睦、世代間の交流が図られた。	有田区	スポーツ推進課	382～383
29	うらスポマラソン大会開催事業	特定非営利活動法人 うらがわらスポーツクラブ	1,067	325	742	参加ランナー、スタッフ、沿道でのボランティアなど、関わる住民がそれぞれ体力づくりや地域力の向上を意識づける機会として、「うらスポマラソン大会」を開催し、体力や精神を鍛え、仲間づくりの機会を与えることと、地域の教育力の質向上に寄与した。	浦川原区	スポーツ推進課	382～383
30	団体結成20周年記念事業	中郷ジュニアXCスキー育成会	167	116	51	クロスカントリースキーを通じ郷土愛の育成や地域の絆を深めてきた活動が20年の節目を迎えたことから、これまで支えてくれた地域への感謝の想いを共有し、今後の活動につなげるため、はとびあ中郷において11月18日に学校体育の分野に精通した講師を迎え、講演会を開催し、30人の参加があった。	中郷区	スポーツ推進課	382～383
31	三和の子どもたちの健やかな成長を支援する事業	特定非営利活動法人 さんわスポーツクラブ	900	838	62	中学校部活動への指導者派遣と体験会により小中学生が様々なスポーツを体験する機会を提供することができた。また、地域の子どもは地域で育てるという機運を高めることができた。	三和区	スポーツ推進課	382～383
産業部									
1	さんわ桜の陣事業	さんわ桜の陣実行委員会	1,081	806	275	三和区が誇る桜と食の魅力を広く発信するとともに、地域経済の好循環を生み出すため、区内の事業者と区内外の住民が交流を深める「さんわ桜の陣2023イベント」を開催した。区内外から多くの方々に来場・参加いただき、交流人口が拡大し、地域商工業の活性化につなげることができた。	三和区	産業政策課	290～291
2	交流と賑わいによる「みなとまちづくり」事業	直江津港周辺活性化協議会	1,656	888	768	直江津港を拠点としたまちの活性化を図るため、佐渡汽船ターミナルを会場に、寒ぶりの解体やあんこうの吊るし切りショー、市内学生によるステージイベント等を行う「寒ぶりまつり」を12月10日に実施し、直江津港周辺のPRに努めることができた。	直江津区	産業立地課	318～319
文化観光部									
1	風鈴街道 in 雁木2023事業	越後高田・雁木ねっとわーく	43	36	7	雁木を歴史的文化遺産として市民に広く認識してもらい、歴史景観を後世に残していくための機運の醸成並びに観光振興に役立てるため、8月1日から15日にかけて区内28町内において雁木の軒先へ風鈴を飾るとともに、8月13日から16日の夜間には行灯の掲出、8月1日から31日はお休み処を2か所開設した。	高田区	文化振興課	152～153
2	高田世界館と高田小町界隈散策ガイド制作とPR事業	特定非営利活動法人 街なか映画館再生委員会	605	396	209	高田小町界隈の歴史資源を活用して街なか散策の促進を図るとともに、交流人口の増に寄与するため、高田小町界隈の歴史資源を活用して高田世界館と高田小町界隈の散策ガイドを制作し、高田世界館や高田小町などの施設に配置したほか、新潟県観光協会等において旅行会社に配布し、高田の雁木通りと高田世界館の組合せを旅行会社にPRし、旅行企画の立案につなげた。	高田区	文化振興課	152～153

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
3	地域資源を活かした高田まちづくり事業	特定非営利活動法人 街なみFocus	645	515	130	雁木町家の景観や歴史文化の保全を推進するとともに、交流人口の増加に寄与するため、雁木通りに面した窓や室外機5か所に格子を取り付けたほか、「街なみ生活景観保全の啓発事業」として地元での祭などで景観保全のPRや地域住民も参加して干し柿、切り干し大根づくりを行った。	高田区	文化振興課	152～153
4	北部地域の文化・賑わいを創出する事業	高田区北部振興会	627	497	130	芸術や文化を通じた市民の情緒の向上に寄与し、高田区北部地域の活性化や地域づくりを図るため、11月3日から30日にかけて陀羅尼八幡宮において「紅葉まつり」を開催し、紅葉のライトアップによる景観を創出するとともに、地域の演奏家による野外演奏会を開催し、大勢の来場者に景観と音楽を楽しんでもらうことができた。	高田区	文化振興課	152～153
5	お馬出しプロジェクト事業	お馬出しプロジェクト	334	264	70	城下町高田に残る歴史ある地名や行事等を大切に、次世代に伝えまちの活性化につなげるため、地域の有識者を招いた講演会を9月、12月、3月の3回開催し、高田区の歴史や文化等の知見並びに参加者同士の交流を深める機会とするとともに、2月3日本町商店街を会場にふるさとの唄コンサート等を実施し、賑わいの創出に貢献した。	高田区	文化振興課	152～153
6	「第2回にいがた水墨画フェスティバルの開催」事業	上越水墨画フェスティバル実行委員会	866	605	261	水墨画を通じた文化の振興を図るとともに、高田区のにぎわいに寄与するため、3月21日から26日にミューゼ小町を会場に県内の水墨画愛好家等の出展による「第2回にいがた水墨画フェスティバル」を開催し、県内からの観光客の誘客を図った。	高田区	文化振興課	152～153
7	高田簪女の文化の発信事業	特定非営利活動法人 高田簪女の文化を保存・発信する会	149	118	31	まちの誇りを醸成するとともに、高田区の交流人口の増加に寄与するため、5月13日に簪女の守り本尊である弁財天に簪女唄を奉納する妙音講と簪女唄演奏会を開催したほか、2月3日に高田簪女の門付け再現と簪女唄演奏会を行い、市内外からの大勢の来場者に高田簪女の文化を広く発信することができた。	高田区	文化振興課	152～153
8	芳澤謙吉翁顕彰事業	芳澤謙吉翁顕彰会	421	418	3	地元出身の外交官、芳澤謙吉への関心と理解を深めるため、7月22日に芳澤記念館で茶会、諏訪地区公民館で講演会を開催し、延べ90人が参加したほか、研修会の開催や講演記録集の作成・配布等を行った。	諏訪区	文化振興課	152～153
9	前島密翁献碑祭101周年事業	前島密翁献碑祭実行委員会	772	714	58	前島密翁の偉業を称え、住民の郷土愛を醸成するため、7月1日に前島記念館において、第101回前島密翁献碑祭と直木賞作家の門井慶喜氏による講演会を開催した。献碑祭の知名度の向上はもとより、前島記念館の来館者の増加にも寄与することができた。	津有区	文化振興課	152～153
10	第14回浦川原和太鼓祭	特定非営利活動法人 保倉川太鼓	840	690	150	日本古来の「和太鼓」を通じ、日本の伝統文化と和の心を浦川原区から発信することで、「人と地域が元気なまち」にするため「第14回浦川原和太鼓祭」を開催し、和太鼓文化の伝承・継承に寄与した。	浦川原区	文化振興課	152～153
11	川上山里の風コンサート事業	川上地区協議会	692	413	279	地域の宝物として維持管理している「川上会館」（旧川上小学校木造体育館、国登録有形文化財）を活用し「川上山里の風コンサート」を10月7日に開催したことで、地域の活力維持と郷土愛を育むことができた。また、来場者へ山間地の現状と魅力を発信し交流人口増加へつなげることができた。	牧区	文化振興課	152～153
12	チェコ共和国との文化交流事業	夢をかなえる会	1,049	1,022	27	吉川区出身でチェコ共和国を拠点に活躍するピアニストやチェコフィルハーモニー楽団の演奏家などが吉川小学校、中学校等で、講演や演奏会を計画どおり行った。児童生徒に、将来への夢や希望を与え、地域への誇りを感じてもらうことができ、また、地域住民に、芸術性の高い音楽・演奏に触れる機会を提供することができた。	吉川区	文化振興課	152～153
13	板倉区の史跡文化財を広め交流人口の増加を狙う事業	いたくら文化研究会	652	613	39	板倉区内の歴史文化、偉人のほか商店など、楽しく板倉めぐりができるスタンプラリー形式のマップを作成しスタンプラリーを開催した結果、延べ約1,000人が参加したほか、板倉ゆかりの2人の偉人展（増村朴齋展令和5年9月開催、中村十作展令和6年3月開催）を開催したことにより、交流人口の拡大と板倉区の魅力を発信することができた。	板倉区	文化振興課	152～153
14	地域に残る伝説の紙芝居作成事業	寺野玉手箱グループ	169	168	1	地元小学校の子どもたちと協力して、板倉区関田に残る「百体観音」の伝説の紙芝居を作成し、次世代を担う子どもたちの郷土愛の醸成を図ったほか、令和6年3月に小学校や団体の集まりにて紙芝居の上演を3回行い、板倉区の歴史、文化を広めていくことができた。	板倉区	文化振興課	152～153
15	坂口記念館の特色を活かした講座事業	特定非営利活動法人 くびき来夢ネット	37	22	15	坂口記念館を活用し、「住みたい、訪れたい」まち頭城区の実現に向け地域住民の郷土愛を育むため、坂口鑑一郎博士を顕彰する事業として、2月2日に「さかさきん発酵鍋づくり」、3月16日に「塩麴づくり体験」を開催し、計26人の参加があった。	頭城区	文化振興課	154～155

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
16	花の苗里親育成事業	市 (提案団体：特定非営利活動法人くびき来夢ネット)	323	323	—	季節の花が咲く通学路、ポケットパークの整備により、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け地域の一体感の醸成と景観の向上を図るため、坂口記念館を拠点に挿し木講座を6月22日、7月2日、10月1日、10月7日に開催し、計61人の参加があった。また、頸城区推奨の花の挿し木を育て、11月3日のくびき文化祭において無料配布を実施した。	頸城区	文化振興課	154～155
17	上越妙高駅賑わいづくり環境整備事業	上越妙高駅と共に歩む会	484	483	1	上越妙高駅利用者に当地のおもてなしや義の心を届けるとともに、主要イベント等にいざない、賑わいと交流の推進を図るため、上越妙高駅の自由通路等18か所に通年デザインののぼり旗3種類、加えて観連会、観桜会の開催時にはPRののぼり旗を30か所に設置したほか、のぼり旗の設置・撤去時には、ゴミ拾い等美化活動を行った。	和田区	観光振興課	294～295
18	「雪まつり(キャンドルイベント)」開催による地域交流・地域活性化事業	高土地区雪まつり実行委員会	2,424	2,389	35	地域の魅力を発信し、知名度を上げるとともに、住民の団結力を高めるため、2月24日に岩の原葡萄園及び高土地区多目的研修センターにおいて「高土雪まつり」を開催した。花火や蔵ツアー、光の広場、高土マルシェによる「ふるまい」等を行い、地域の活性化と魅力の向上を図ることができた。	高土区	観光振興課	294～295
19	直江津写真フェア事業	上越写真連盟	397	334	63	直江津の魅力を再発見・発信するため「撮って発見 直江津の魅力」をテーマにした写真コンテストを開催するとともに、12月2・3日及び1月27・28日に応募作品の展示を行い、直江津の魅力を発見・発信するとともに、写真文化の広がりや深まりを増やすことができた。	直江津区	観光振興課	294～295
20	谷浜・桑取区のガイドマップ作成事業	谷浜地域づくり協議会	381	380	1	谷浜・桑取区への来訪者を始め多くの方々に分かりやすく地域の見どころをPRするため、ガイドマップを増刷し、地元8旅館・民宿を始め区内外に配布した。また、ガイドマップに掲載されている場所を巡る「ガイドマップ巡り」(お宝さがし)を10月7日に実施し、区外からの参加を含めた23人へ地域を知る機会を提供し、地域の魅力PRに努めた。	谷浜・桑取区	観光振興課	294～295
21	山のうへの雪まつり事業	山のうへの雪まつり実行委員会	2,500	950	1,550	地域住民が自らのアイデアと行動により安塚区の中核的な拠点であるキュービットパレイスキー場を活用することで交流人口の増加と地域の活性化を図るため、安塚キャンドルロードの開催と併せ、2月24日に雪上花火や山のうえトライアスロン、雪像づくりなどを行い、交流人口の増加や地域の活性化に寄与することができた。	安塚区	観光振興課	294～295
22	山のうえ真夏の雪まつり事業	山のうへの雪まつり実行委員会	1,342	939	403	安塚における「通年観光」の実現に資するため、スキー場の閑散期である真夏の8月26日に「雪室の雪」を活用した、雪山の創出や真夏の雪合戦、テントサウナ体験などのイベントを開催し、交流人口の増加に寄与することができた。	安塚区	観光振興課	294～295
23	うらがわら雪あかりフェスタ事業	うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会	161	161	0	灯の回廊の一環として、「うらがわら雪あかりフェスタ」を開催するとともに、その見どころや茶屋など、来場者に楽しんでいただけるポイントやシャトルバスの運行ルートに掲載した「おでかけマップ」や誘導看板を作成し、誘客に寄与する取組を行った。	蒲川原区	観光振興課	294～295
24	地域の宝を活かした「薬師 Re:Project」地域活性化事業	細越平生会	962	960	2	5月から10月にかけて当地域の里山である「薬師山道」の整備を行い、9月3日から9月30日に「ブナの森美術館」、3月2日に「ユキノアカリ」を開催し、イベントを継続して実施したことにより、当地域の新たな価値・魅力を発信することができた。	大島区	観光振興課	294～295
25	地域活性化促進事業(まき深山のとしび)	牧区地区協議会連絡会議	788	787	1	賑わいを創出するとともに地域の魅力を発信し区内外に交流の輪を広げるため、冬の一大イベントである「灯の回廊」を牧区全体の手作りイベント「まき深山のとしび」として2月17日に開催した。	牧区	観光振興課	294～295
26	大潟区散策ルート作成事業	まちづくり大潟、市	1,215	1,208	7	地域の名所を紹介できる人材を育成し、交流人口の拡大を図るため、犀潟駅前の看板の更新と名所旧跡の新たな標識看板を設置し、地元住民だけでなく他地区や市外の人々に犀潟の歴史を再認識してもらうことができた。さらに、大潟区内で2番目の散策ルートを作成し、観光資源として活用され、人口交流が増えた。大潟コミュニティプラザや市の公共施設に散策ルートマップを設置し配布し、その存在を広く知らせることで散策ルートが一層活用された。	大潟区	観光振興課	294～295
27	鶴の浜温泉色彩音楽花火事業	鶴の浜温泉観光組合	5,512	3,774	1,738	鶴の浜温泉の誘客や地域住民の活力向上を図るため、鶴の浜温泉の名物である「色彩音楽花火」を中心としたイベントを実施し、宿泊施設の宿泊者数の増、地域住民との関係の強化に寄与した。	大潟区	観光振興課	294～295

常任委員 会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
28	大池のキャンプ場を活かし、遊歩道から山城巡回を楽しむ事業	雁金城跡保存会	953	953	0	大池・小池をいかした観光振興策の実施により、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け交流人口の拡大を図るため、大池キャンプ場利用者をターゲットに大池側からの登山道の整備を6月4日、7月2日、8月6日に実施し、狼煙台の眺望を案内する看板の設置及び、腐食した木製の椅子の交換を行った。あわせて、8月19日に謙信公祭の狼煙上げに参加し、公民館事業「頸北カレッジ歴史講座」を9月15日に開催した。	頸城区	観光振興課	294～295
29	大池の四季を感じる散策ツアー事業	市 (提案団体：特定非営利活動法人 頸城区観光協会、特定非営利活動法人 くびき里やま学校)	424	424	—	大池・小池をいかした観光振興策の実施により、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け交流人口の拡大を図るため、四季を通じて身近な大池の自然を体験する散策ツアーを5月、6月、7月、10月、11月、3月に開催し、計72人の参加があった。また、遊歩道の樹木への名札取付を実施した。	頸城区	観光振興課	294～295
30	吉川観光重点2地区活性化推進事業	吉川観光協会	2,296	2,288	8	計画どおり、尾神岳エリア、道の駅よしかわ杜氏の郷エリアでのイベントやPRを行うことができた。尾神岳エリアでの「山の上ライブ」や「尾神岳天岩戸伝説記念講演会」、「尾神そば早食い大会」、道の駅よしかわ杜氏の郷での「道の駅フェスティバル」といったイベントでは、多くの人から来場いただくとともに、尾神岳や道の駅を始めとする吉川区の観光資源の発信ができたと思う。	吉川区	観光振興課	294～295
31	灯火のイベント事業	三和の自然と地域を育む会	365	365	0	「灯の回廊」事業に初参画し、関係団体と行政との協働イベントとして、イルミネーションの設置や灯籠などを製作した。子どもたち等の参画により地域住民のつながりを深めるとともに、区内外から多くの方々に来場いただき、交流人口の拡大につながった。	三和区	観光振興課	294～295
32	雪を活かしたまちづくり推進事業	輝く里不動産の会	158	157	1	雪をいかした冬期間のまちづくりを進め、区内の一体感の醸成や賑わいを創出するため、不動地区を会場として2月24日に「不動ミニキャンドルロード」を開催し、500人の来場があったほか、区内外から70人のスタッフ及びボランティアが参加し、雪像の制作等を行ったことで、冬の名立区の魅力を広く発信することができた。	名立区	観光振興課	294～295
33	名立ウォーキングツアーリズム事業	ふるさと名立のくらしと文化伝統を語り継ぐ会	230	229	1	うみてらす名立を起終点としたまちなか回遊による交流人口の拡大を図るため、手書きイラストの「名立いいとこ巡りウォーキングマップ」を3,000部作成し、地域の魅力を発信した。また、「名立宿の魅力再発見」と題した講演会及び古文書等の展示会を10月22日に開催し、35人の参加を得ることができた。	名立区	観光振興課	294～295
34	名立区の魅力を創造し発信する事業	特定非営利活動法人 名立の100年後を創造する会	531	516	15	名立区の魅力を市内外へ発信するため、名立谷浜1C前の景観整備、宇山を紹介するチラシの発行、謙信公祭に合わせた狼煙上げ、写真コンテスト及び展示会等、年間を通して事業を展開した。写真コンテストには区内外から44点の応募、また11月18日、19日に開催した写真の展示会では76人の来場があり、名立区の魅力を広くPRすることができた。	名立区	観光振興課	294～295
35	沖見地区観光拠点づくり事業	レストハウス「けやき」周辺整備の会	296	295	1	沖見地区の玄関口である「ふるさと村自然と憩の森」を地域の観光拠点とするため、7月から11月にかけて花の植栽や遊歩道の整備を行うとともに、案内看板作成、PRホームページを作成し、区内外からの誘客を図った。	牧区	観光振興課	298～299
36	ベース・キャンプ in 光ヶ原高原事業	光ヶ原高原ファン倶楽部	2,457	2,030	427	6月17日から10月23日にかけて光ヶ原高原キャンプ場の運営を行うとともに、8月26日に光ヶ原高原センター周辺でのバギー乗車体験、連風揚げ、薪割火起こし体験、テントサウナなどのイベントを開催し、7月から9月にかけて光ヶ原高原センター周辺での景観整備、ひまわりなどを作付けを行い誘客を図った。	板倉区	観光振興課	300～301
37	大池いこいの森施設運営事業	特定非営利活動法人 頸城区観光協会	5,330	3,230	2,100	大池・小池をいかした観光振興策の実施により、「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け交流人口の増加を図るため、4月から11月、3月中旬から下旬にかけてビジターセンターを拠点にキャンプ場の維持管理を行うとともに、6月から11月の大池・小池環境整備、4月、6月、12月にイベントを開催し、計36人の参加があった。	頸城区	観光振興課	302～305
38	いたくら里山彩花事業	みどりやすらぎグループ	938	888	50	4月22日から5月7日の期間でいたくら芝桜まつりを開催し、約1万人の来場があった。開催にあたり看板や花壇柵の設置、こいのぼりの掲揚等、地域の方と連携を図ったほか、SNS等で発信を行い、成功につながった。来場者が板倉区の他のスポットに訪れるなど観光・経済の波及効果もあり、地域活性化も図ることができた。	板倉区	観光振興課	304～307
計 70件			57,516	46,825	10,691				

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
総務常任委員会									
防災危機管理部									
1	安全に安心して暮らせるまちづくり事業	春日山町防犯パトロール隊	251	250	1	防犯、防火、環境美化及び子どもと高齢者を見守るため、のぼり旗の掲出や、冬期間を除き通年で住民による防犯パトロール活動等を実施した。地域の安全・安心の確保に寄与したほか、活動を通じて近隣の住民同士の交流が図られた。	春日区	市民安全課	130～131
2	交通事故のない安全安心なまちづくり事業	上越交通安全協会高士支部	405	405	0	地域の交通安全を確保するため、春と秋の全国交通安全週間に合わせて、小・中学校の登校時間に地区内7か所において立哨活動及びのぼり旗の設置を行った。各町内会の協力を得て、延べ168人が参加し、児童・生徒への注意喚起や通行車両への安全運転の意識啓発を図った。	高士区	市民安全課	144～145
3	安全安心なまちづくり「見守り活動」事業	保倉地区防犯連絡協議会	295	206	89	防犯・事故防止と地区内外へのアピールにつなげるため、保倉小学校児童、直江津東中学校生徒の登下校時のほか高齢者等の外出時の見守り活動を実施した。地域内統一のパトロールコート、合図棒を使用し約210日活動したことにより、地域全体の安全・安心感を高め、また、児童・生徒と挨拶を交わすなど、地域全体で子どもを育てる機運を醸成することができた。	保倉区	市民安全課	144～145
4	上越市防災士会津有支部安心安全事業	上越市防災士会津有支部	40	38	2	地域の防災力向上と意識高揚を図るため、10月29日に、中越市民防災安全士会から会長と副会長を招き、「中越地震の教訓を地域活動に活かす」をテーマに講演会を開催し、34人が参加した。自助、共助の取組により、地域の防災力を向上することの必要性を再確認することができた。	津有区	市民安全課	330～331
総合政策部									
1	子どもたちの平和学習推進事業	市	50	50	—	大勢が犠牲となった名立漁港機雷爆破事件を末永く伝え、平和や戦争について考える機会の提供を目的に、3月10日に講演会を実施し50人の参加があった。広島平和記念館を訪問した中学生による報告や市民団体の講演等を通し、命の尊さや平和の大切さを地域全体で考えることができた。また、2月28日から3月9日まで、名立・平和を願う日パネル展を開催した。	名立区	多文化共生課	126～127
2	小さな地域で始める共生のまちづくり	一般社団法人中郷区さとまる学校	1,160	1,013	147	誰もが相互に人格や個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を認め合う地域の実現を図るため、区内行事を記載した共生カレンダーを小学校6年生と作成し配布するとともに、11月25日に共生ステージ「華響」、12月2日に共生フェスタを開催し、計580人の来場があった。	中郷区	多文化共生課	140～141
3	名立駅マイ・ステーション作戦事業	名立駅マイ・ステーション作戦実行委員会	181	180	1	名立駅の利用促進と地域活性化を図るため、名立駅クリーン作戦と題して8月6日と10月15日にクリーン活動を実施した。また、10月15日に「駅からウォーキング」を開催し26人の参加があった。このほか、クリスマスイベントやトキ鉄開業9周年イベント、たよりの発行を行ったことで、年間を通して名立駅を活用した地域活性化を行うことができた。	名立区	交通政策課	142～143
4	外国人居住者を含めた南川地区大規模防災訓練と交流会事業	南川振興会	46	32	14	「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け、地域防災力の向上と地域住民と外国人市民の相互理解を図るため、2年に1度実施している大規模な防災訓練に外国人市民を雇用している企業からの参加を得て、南川地区大規模防災訓練と交流会事業を10月15日に開催し、500人の参加があった。	頸城区	多文化共生課	158～159
5	外国人居住者が参加するファーマーズマーケット事業	南川振興会、特定非営利活動法人 頸城区観光協会	1,628	1,400	228	「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け、地域住民と外国人市民の相互理解を図るため、外国人市民も参加するファーマーズマーケットを7月8日、9日に開催し、2,000人の参加があり、国際交流の場を設け、地域住民、行政や関連企業と連携を図る機会を設けた。	頸城区	多文化共生課	158～159
6	各年齢層のつながりや居場所になるように取り組む交流促進事業	誰でも集える場所 じくの家	531	511	20	地域における交流やつながりを深め、地域の活性化に資するため、毎週金曜日から月曜日の午前10時から午後3時に東本町2丁目の「じくの家」を会場に誰でも参加できるお茶の間事業を実施するほか、利用者の要望に応じて各種講座等を開催し、人のつながりの拡大並びに利用者同士の交流を促進することができた。	高田区	地域政策課	162～163
7	誰もが気軽に集える居場所事業	特定非営利活動法人 かたばみの家	219	160	59	人と人、人と社会がつながり支え合う活気ある地域づくりを図り、地域の活性化に資するため、毎週金曜日の午前10時から午後4時に寺町3丁目の真宗寺を会場に誰もが集える居場所事業を実施するほか、月1回程度創作活動の講座や保健師を招いた健康相談を開催し、利用者同士の交流を促進することができた。	高田区	地域政策課	162～163

常任委員会名		事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
	8	稲田むすぶフェスティバル	稲田むすぶプロジェクト	1,044	878	166	住民が主体的に地域づくりを考え、活動を通じて達成感を見いだすことを目的に、7月1日に河川敷でのクリーン活動、10月4日に「稲田むすぶフェスティバル」を実施した。クリーン活動では近隣企業の有志を含め約100人が参加したほか、フェスティバルでは中高生などのボランティアがイベントを運営するなど、地域一丸となって取り組むことができた。	新道区	地域政策課	162～163
	9	滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業	滝寺まちづくり協議会	265	230	35	地域の自然環境や歴史・文化の維持・保全活動を通じて、住民間の交流を図るため、4月から1月にかけて、ミズパショウ自生地の保護・育成、毘沙門堂周辺及び参道の整備活動等を実施した。また、定期的に活動内容を掲載した会報を発行し、住民間の交流を深めた。	金谷区	地域政策課	162～163
	10	金谷若者まちづくり参画事業	上越若者みらい会議	1,136	977	159	金谷区の若い世代の交流促進と地域の観光資源の利用促進のため、5月と8月に南葉高原キャンプ場でエジマス釣りイベント、6・8・12・3月に金谷山公園等でフリーマーケットを中心とした金谷山フェスを開催した。イベントの開催を通じて、南葉高原キャンプ場及び金谷山公園の魅力発信と利用促進につなげることができた。	金谷区	地域政策課	162～163
	11	ミニ新聞「まめでやったけえ」発行継続および活用によるきずな拡大事業	「まめ」新聞有志会	93	93	0	地域内外における交流促進と生きがいの創出を図るため、地域住民が自ら執筆、編集、頒布まで一連の作業を行い、それぞれの思いや情報を共有するための新聞を計5回発行した。新聞発行と発行後の読書会等の開催を通じて、地域住民と地域外の方との交流が活発に行われ、地域の活性化につなげることができた。	金谷区	地域政策課	162～163
	12	いきいき春日野ふれあいコンサート事業	いきいき春日野ふれあいコンサート実行委員会	236	161	75	地域住民によるまちづくり活動を推進するため、地域と学校との交流イベント「第17回いきいき春日野ふれあいコンサート」を6月11日に上越文化会館で開催した。実行委員会形式で事業を運営したことにより、自主性が高まったほか、地域と大学との連携が強まり、交流が一層幅広く、活発となった。	春日区	地域政策課	162～163
	13	“明日の上越・諏訪を創る会”未来来すわ事業	未来来すわ	476	475	1	地域の魅力と環境の素晴らしさを発信するため、地域の宝であるはさ木や和みの八木様の保全活動を実施したほか、町内会等の団体の協力で地域一帯にヒマワリを咲かせたことにより、地域の魅力を高めることができた。	諏訪区	地域政策課	162～163
	14	諏訪の里づくり協議会事業	諏訪の里づくり協議会	1,398	1,255	143	住民の融和を図り、連帯感を強化するため、秋祭り等のイベントや住民参加の各種教室の開催、ホームページによる地域情報の発信に取り組んだ。様々な取組を通じて、住民同士の交流が促進されたとともに、にぎわいが創出され、地域の活力向上につながった。	諏訪区	地域政策課	162～163
	15	津有区パンフレット作成及び活用事業	市（提案団体：津有区地域協議会）	564	564	—	地域の良さを住民に理解してもらい、地域活性化につなげるため、関係団体等と連携し、見どころを紹介するパンフレットを3,300部作成し、全戸配布を行った。さらに、11月にはこのパンフレットを活用したバスツアーを2回開催したほか、スタンブラリーも随時実施し、地域の再認識や再発見につながる機会を提供した。	津有区	地域政策課	162～163
	16	さんごう仲間づくり事業	ENJOY35	89	54	35	地域住民の交流促進と健康の増進を図るため、7月から3月にかけて、地域ボランティアと小学生による雑巾プロジェクトやフリーマーケット、料理講座等を実施し、延べ86人が参加した。それぞれの企画において、様々な年代の住民の参加があり、世代間の交流を深めることができた。	三郷区	地域政策課	162～163
	17	地区だより「たかし」発行事業	高士地区振興協議会	223	192	31	住民の地域活動への関心を高めるため、区内の団体からも編集委員として参画してもらい、毎月25日に地区広報紙を500部発行することにより、各団体の様々な活動内容を一元的に発信、PRすることができた。	高士区	地域政策課	162～163
	18	ふるさと高士まつり開催事業	高士地区振興協議会	469	382	87	地域のにぎわいを創出し、まちづくりや活性化を図るため、8月20日に高士小学校において「ふるさと高士まつり」を開催した。屋外子どもイベント会場を始め出店ブース等を設けたことにより、約350人の参加があり、世代間交流や地域の絆を深めることができた。	高士区	地域政策課	162～163
	19	直江津のグランドデザインを描く事業	直江津プライド2021	607	606	1	「三八朝市の未来」と「屋台会館の活用」を考える2つのテーマについて、市民参加による計4回のワークショップを実施するとともに、検討結果の発表会及び市民意見交換会を1月27・28日に行うことで、多くの意見を集約した「直江津まちづくり提言書」をまとめることができた。	直江津区	地域政策課	162～163

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
	20 福永十三郎顕彰・四十物祭事業	まちおこし直江津	682	680		直江津の歴史的な偉人福永十三郎翁の遺徳を偲ぶ「四十物祭」を三八朝市と連携を図りながら11月18日に実施し、福永十三郎翁の商権復活の尽力を再確認したほか、当時の直江津の歴史と多彩な食文化を来場者と共有することができた。	直江津区	地域政策課	162～163
	21 やちほ文化展はまぐみ市事業	八千浦地区明るい町づくり協議会	164	163		地域住民の交流、にぎわいの創出を図るため、住民の創作活動の発表と地域文化の再発見を目指す「やちほ文化展」を11月3・4日に開催し、併せて地域特産品や農産物等のPRを行う「はまぐみ市」（フリーマーケット）を11月3日に開催し、約350人が来場した。地元企業からの出展協力もあり、住民と企業関係者との交流や、子どもと大人の世代間交流が図られた。	八千浦区	地域政策課	162～163
	22 八千浦地区活性化・青少年育成事業「八千浦地区海まつり」	海まつり実行委員会	958	957		地域住民の融和や将来を担う次世代の郷土愛の醸成と協働の精神を培うため、八千浦区の地域資源である海に親しむ「海まつり」を9月2日に開催し、住民と小・中学生、保護者が、当日までの企画・運営など様々な活動を通して触れ合うなど、次世代が積極的に地域活動に協力することで地域の一体感が高まった。	八千浦区	地域政策課	162～163
	23 北諏訪区地域の魅力PR事業	北諏訪まちづくり振興会	152	145		北諏訪区の魅力となる歴史・文化・スポーツ行事などの情報を広く周知するため、「北諏訪だより」を年4回発行し、地域の一体感を醸成するとともに、まちづくり活動への地域住民の参画が図られた。	北諏訪区	地域政策課	162～163
	24 地域探訪ウォーキング事業	北諏訪まちづくり振興会	41	40		北諏訪区内の公共施設や芳澤記念公園をウォーキングして訪れる「地域探訪ウォーキング」を9月16日に実施し、地域の魅力再発見と、住民同士の親睦や健康増進が図られた。	北諏訪区	地域政策課	162～163
	25 地域コミュニティ活性化事業	北諏訪まちづくり振興会	372	371		今回で27回目となる「まつりっち in 北諏訪」を10月14日に実施し、チンドン屋や太鼓の演舞等のステージイベントに加え、子ども達やすこやかサロン参加者等が作成したランタンを灯す催し等を行うことで、地域住民の世代を超えた交流と親睦が図られ、地域の活性化につながった。	北諏訪区	地域政策課	162～163
	26 あぜ道ほたる・夢灯り in ほたるの里事業	大島地区振興協議会	603	550		ほたるが舞う自然豊かな大島地区の魅力を活用し、ほたるが飛び交う季節に田の畔にろうそくを灯す「あぜ道ほたる・夢灯り」及び上越教育大学吹奏楽部による「“自然よ輝け、ほたるの光で”音楽ライブ」を6月17日に開催し、予想を上回る来場者があり、地域のにぎわいが創出された。	大島区	地域政策課	162～163
	27 つながりと地域愛を育む情報発信事業	特定非営利活動法人 牧振興会	256	179		区内でのつながりと関係人口の増加につなげるため、NPO法人牧振興会のホームページ（ブログ）やインスタグラムを活用し、年間を通して牧区における暮らしと住民の様子を発信した。	牧区	地域政策課	162～163
	28 黒川黒岩ふれあい事業	16ピース	2,184	1,266		地域住民と出身者との交流促進、相互が一体となり地域を支え守ろうとする地域コミュニティの醸成を図るため、4月から11月にかけて旧黒川小学校跡地の草刈りとグラウンド沿いのフラワーロードの整備、8月12日に黒川黒岩ふれあいまつり、10月8日に米山古道の散策と遺跡めぐりを実施し、地域活性化の足掛かりとなった。	柿崎区	地域政策課	162～163
	29 柿崎時代夏まつり「下黒川地区夏まつり」事業	柿崎時代夏まつり「下黒川地区夏まつり」実行委員会	1,446	1,266		地域の一体感や郷土愛を醸成するため、5月16日に郷土の伝統芸能「十三夜」の伝承に向けた講習会を開催し、8月20日に下黒川地区夏まつり、9月24日にふるさとウォーキング、3月2日に河川美化作業等年間を通じた活動に取り組み、若者や子どもたちへ伝統文化を継承するとともに、ふるさとを愛する心の育成に寄与した。	柿崎区	地域政策課	162～163
	30 ふるさとのお宝を保存し、後世に歴史的意義を伝える事業	特定非営利活動法人 くびきのお宝のこす会、市（提案団体：特定非営利活動法人 くびきのお宝のこす会）	1,158	1,144		「住みたい、訪れたい」まち頸城区の実現に向け交流人口の増加を図るため、旧頸城鉄道の車両を動態保存し、5月から11月にかけてくびき野レールパーク一般公開などを行うとともに、団体からの要請に応じて随時公開を行った。また、レールパーク開設15周年記念事業として記念式典、シンポジウム、写真展を11月11日に開催し、計2,661人の参加があった。	頸城区	地域政策課	162～163
	31 つなげるコミュニティ区内巡回ツアー運営事業	市（提案団体：中郷区地域協議会）	1,886	1,886		コミュニティづくり、生きがいがづくり、子どもの居場所づくりなどにつながる活動を促すとともに、将来的な乗合タクシーの利用増や利便性の向上にもつなげるため、貸切タクシーを使った区内巡回ツアーを計18回実証実験として運行し、延べ102人の参加があった。	中郷区	地域政策課	162～163
	32 第5回二本木駅鉄道まつり	中郷商工会	3,360	3,200		郷土愛の醸成や地域の一体感の醸成を図るとともに、交流人口の増加に寄与するため、第5回二本木駅鉄道まつりを駅前商店街、二本木駅構内において9月16日に開催し、800人の来場があった。	中郷区	地域政策課	162～163

常任委員会名	事業名	実施主体	総事業費 (①) (千円)	決算額 (②) (千円)	自己負担額 (①-②) (千円)	実施内容	地区名	担当課	決算書 (ページ)
	33	板倉区のゆるキャラ「いたくらけいと」PR事業	307	306	1	板倉区のゆるキャラ「いたくらけいと」の住民への認知度を更に高めるため、板倉まちづくり振興会等が保有する車両ヘラッピングや貸出用マグネットを作成しPRに努めた。「いたくらけいと」のキャラクターデザインは人気が高く、地域の諸団体や企業から使用許可の依頼が来ているなど、地域の愛すべきキャラクターとして定着している。	板倉区	地域政策課	162～163
	34	簡方地区活性化事業	552	377	175	蕎麦打ち職人育成講座を計11回開催し、延べ102人が参加したことから、蕎麦の食文化と知識の伝承のほか、蕎麦打ちの技術の継承が図られた。フォトコンテストは応募数50点があり、旧簡方小学校や板倉コミュニティプラザを会場に写真展を2回開催。延べ約600人が来場し、地域の魅力をPRすることができた。	板倉区	地域政策課	162～163
	35	坊ヶ池交流施設運営管理事業	3,976	3,976	0	地域の活性化を図るため、ビュー京ヶ岳では、5月から11月の土日祝日を中心に年間71日間の営業を行い、恒例の新そばまつりを11月12日に開催するとともに、関連イベントである「ソバの日（11月18日、19日）」と合わせ約700人の入館者があり、地域農産物の販売促進、交流人口の拡大、中山間地域の活性化に寄与することができた。また、平日では研修会場としての星のふるさと館の利用者約60人が昼食をビュー京ヶ岳でとるなど、新たな客層の広がりがあった。	清里区	地域政策課	162～163
	36	地域交流促進事業	205	100	105	清里区の地域資源や歴史文化資源を活用した、ふるさと史跡探訪ツアー3回、ブナの森ハイク1回を開催し、第1回ふるさと史跡探訪ツアーでは募集定員を上回る参加があり、交流人口の拡大と坊ヶ池周辺施設の活性化に寄与することができた。また、当該団体も含む関係団体が地域活動支援事業で作成した「坊ヶ池周辺散策マップ」を公民館事業に提供するとともに、当該事業に協力するなど、市民交流活動を通じ、住民福祉の向上と地域振興を図ることができた。	清里区	地域政策課	162～163
	37	移住促進諏訪の会活動事業	83	82	1	区内の定住人口の増加を図るため、11月20日に先進事例の視察研修、3月16日に移住促進フォーラムを実施したほか、チラシやSNSを通じて地域の魅力を発信した。移住者の受入れ実績はなかったが、住民の地域に対する愛着の醸成に寄与することができた。	諏訪区	多文化共生課	164～165
計 41件			29,791	26,800	2,991				
総計 145件			104,119	88,217	15,902				

令和6年能登半島地震に係る復旧・支援の取組について

1 復旧経費等の予算執行状況

<一般会計>

(単位：千円)

項目	令和5年度					令和6年度
	予算現額	執行額	財源内訳			翌年度繰越額
			国県支出金	その他財源	一般財源	
施設の復旧に係る経費	462,019	344,313	4,373	90,310	249,630	114,917
公共施設	78,989	46,596	0	6,700	39,896	32,868
文教施設（小中学校等）	118,976	58,864	0	24,400	34,464	55,059
市道	141,994	117,608	0	57,900	59,708	26,990
農道	6,794	6,794	0	0	6,794	0
農業用施設	18,040	17,458	4,373	1,310	11,775	0
水産施設	1,704	1,702	0	0	1,702	0
市管理河川	2,849	2,618	0	0	2,618	0
公園	710	710	0	0	710	0
公共下水道 ※1	87,000	87,000	0	0	87,000	0
その他	4,963	4,963	0	0	4,963	0
施設点検費用等	880	880	0	0	880	0
避難所開設・運営費用	29,757	1,777	86	657	1,034	26,380
被災者支援に係る経費	528,012	58,565	19,213	7,396	31,956	446,153
事業者支援に係る経費	236,244	3,749	2,210	0	1,539	203,734
災害対策に係る経費	3,573	1,875	94	0	1,781	0
職員人件費	75,050	75,050	0	0	75,050	0
その他	48,973	32,264	4,319	94	27,851	0
一般会計合計…①	1,384,508	518,473	30,295	98,457	389,721	791,184

※1 一般会計には、下水道事業会計への繰出金を含む

<病院事業会計>

(単位：千円)

項目	令和5年度					令和6年度
	予算現額	執行額	財源内訳			翌年度繰越額
			国県支出金	その他財源	一般財源	
施設の復旧に係る経費	108	108	0	0	108	0
病院施設	108	108	0	0	108	0
病院事業会計合計…②	108	108	0	0	108	0

<下水道事業会計>

(単位：千円)

項目	令和5年度					令和6年度
	予算現額	執行額	財源内訳			翌年度繰越額
			国県支出金	その他財源	一般財源	
施設の復旧に係る経費	91,000	70,916	0	70,916	0	15,000
公共下水道事業	91,000	70,916	0	70,916	0	15,000
農業集落排水事業	0	0	0	0	0	0
職員人件費	105	105	0	0	105	0
下水道事業会計合計…③	91,105	71,021	0	70,916	105	15,000

<ガス事業会計・水道事業会計>

(単位：千円)

項目	令和5年度					令和6年度
	予算現額	執行額	財源内訳			翌年度繰越額
			国県支出金	その他財源	一般財源	
施設の復旧に係る経費	27,326	27,326	0	0	27,326	0
ガス施設	4,697	4,697	0	0	4,697	0
水道施設	22,629	22,629	0	0	22,629	0
職員人件費（ガス事業会計）	1,748	1,748	0	0	1,748	0
職員人件費（水道事業会計）	2,988	2,988	0	0	2,988	0
応急復旧支援活動経費（七尾市）	13,332	13,332	0	13,332	0	0
ガス・水道事業合計…④	45,394	45,394	0	13,332	32,062	0

総計（①+②+③+④）	1,521,115	634,996	30,295	182,705	421,996	806,184
-------------	-----------	---------	--------	---------	---------	---------

2 被災者支援の主な取組

(1) 生活者への支援

58,565 千円

(単位：千円)

No.	事業名称	事業概要	予算現額	執行額	財源内訳			翌年度繰越額	所管課
					国県支出金	その他財源	一般財源		
住宅の確保、復旧等の支援									
1	住宅応急修理制度	住宅が準半壊以上の被害を受けた世帯に対し、日常生活に必要な最小限度の部分を応急的に修理する場合、市独自の支援を上乗せした上限額において、市が業者に修理を委託する。	34,120	1,460	1,206	0	254	32,660	建築住宅課
2	市営住宅への入居	地震により自宅に住むことが困難となった方を対象に、一定期間、市営住宅を無償で提供する。	—	—	—	—	—	—	建築住宅課
3	賃貸型応急住宅の提供	住宅が半壊以上の被害を受け、やむを得ず住宅の解体などを行う被災者で、公営住宅に入居できないやむを得ない理由がある場合に、民間賃貸住宅を借上げ応急住宅として一定期間提供する。	761	715	715	0	0	0	建築住宅課
4	被災者住宅修理支援事業	住宅応急修理制度の対象（準半壊以上）とならない住宅や附属屋の被災箇所の修理工事費を支援する。（対象工事費100千円以上、補助率 1/2、補助上限額 100千円）	100,000	17,939	0	7,396	10,543	82,061	建築住宅課
5	被災家屋等の公費解体	・半壊以上の被害を受けた家屋等を、所有者の申請に基づき、市が所有者に代わって解体・撤去を行う。（全額公費負担） ・対象家屋等の解体・撤去を自ら行った所有者については、市が決定した金額を償還する。（全額にならない場合あり）	228,000	0	0	0	0	228,000	生活環境課
6	被災浄化槽の復旧に関する助成制度	住宅の合併処理浄化槽が被害を受けた方で、住宅の建て替えに伴う浄化槽の設置、故障した浄化槽の更新及び既設の浄化槽の改築を行う場合に補助金を交付する。	2,759	2,759	784	0	1,975	0	生活排水対策課
ごみ処理、その他の支援									
7	災害ごみの処分費用の減免	・災害で発生した家庭ごみをクリーンセンター、仮置場又は中間処理事業者へ持ち込む場合や収集業者に依頼する場合に処分費用を減免する。 ・それらの搬出された不燃ごみや処理が困難なごみは、業者に委託して処分する。	137,696	33,016	16,508	0	16,508	103,432	生活環境課
8	被災者生活再建支援事業	居住する住宅が半壊以上（床上浸水含む）の被害を受けた方を対象に、住宅の被害程度及び再建方法に応じて支援金を支給する。	22,000	0	0	0	0	0	危機管理課
9	指定文化財及び国登録有形文化財の復旧支援	被害を受けた市内の指定文化財及び国登録有形文化財の復旧に要する費用について、補助金により支援する。	2,676	2,676	0	0	2,676	0	文化行政課
合計			528,012	58,565	19,213	7,396	31,956	446,153	

(2) 事業者への支援

3,749 千円

(単位：千円)

No.	事業名称	事業概要	予算現額	執行額	財源内訳			翌年度繰越額	所管課
					国県支出金	その他財源	一般財源		
中小企業者等への支援									
1	被災事業者復旧・復興支援	被災した中小企業者等の工場や店舗、生産機械などの復旧費及び販路開拓やにぎわい創出を図るイベントなどの復興費を、国・県が実施する支援にあわせて市が事業者負担分を支援する。	118,051	0	0	0	0	118,051	産業政策課
2	新潟県制度融資利用事業者への支援	県のセーフティネット資金及び短期事業資金を利用した事業者に対する信用保証料と借入利子を補助する。	13,951	715	0	0	715	0	産業政策課
農林水産業者への支援									
3	農林水産施設等の復旧支援	・農業用機械や共同利用施設等の復旧について、国事業に上乗せ支援を行う。 ・農地、農業用施設等の復旧活動を行う経費を追加して支援する。 ・きのこの生産に必要な設備や資材等の復旧について、国の事業にあわせ、追加支援を行う。 ・漁業の共同利用施設や漁労設備等の復旧について、国・県事業に上乗せ支援を行う。	88,717	3,034	2,210	0	824	85,683	農政課 農林水産整備課
4	被災した農林水産業者への金融支援	・農林水産業施設や資機材等に被害を受け、経営を継続するために資金調達を行う農林水産業者に対して金融支援を行う。（資金の貸付、金融機関等の緊急融資利用者への利子及び保証料の補助）	15,525	0	0	0	0	0	農村振興課
合計			236,244	3,749	2,210	0	1,539	203,734	

令和5年度 エネルギー、食料品等の価格高騰に伴う生活者・事業者等への支援の取組

■目的

エネルギー、食料品等の価格高騰を踏まえ、家計への影響が大きい生活者や事業者等の負担軽減を図るため、必要な対策を実施

【一般会計】

■令和5年度の取組に係る総執行額

4,640,108 千円

(単位：千円)

項目	予算現額	執行額	財源内訳			翌年度繰越額
			国県支出金		一般財源	
			地方創生臨時交付金	左記以外		
(1) 生活者への支援	2,665,958	2,579,900	2,332,966	39,595	207,339	50,193
(2) 事業者等への支援	2,257,902	2,060,208	859,727	70,066	1,130,415	86,370
合計	4,923,860	4,640,108	3,192,693	109,661	1,337,754	136,563

※予算現額は、当初予算、補正予算及び流用・充用額の合計

※執行額及び財源内訳は、表示単位未満で調整しているため、総数とその内訳が一致しない場合がある。

(1) 生活者への支援

2,579,900 千円

(単位：千円)

No.	事業名称	事業概要	予算現額	執行額	財源内訳			翌年度繰越額	所管課
					国県支出金		一般財源		
					地方創生臨時交付金	左記以外			
所得の少ない世帯への支援									
1	生活困窮者自立支援事業	住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり3万円を支給する。	477,478	467,669	467,480	0	189	0	生活援護課
2	生活困窮者自立支援事業	所得の少ない住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯当たり1万5千円を支給する。	69,475	64,968	64,050	0	918	936	生活援護課
3	生活困窮者自立支援事業	住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり7万円を追加支給する。	1,097,731	1,096,642	1,096,642	0	0	0	生活援護課
4	生活困窮者自立支援事業	住民税非課税世帯に対し、灯油購入費助成金として1世帯当たり5千円を支給する。	79,765	79,469	0	39,595	39,874	0	生活援護課
5	生活困窮者自立支援事業	住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯当たり8万5千円または10万円を支給する。	388,140	362,968	362,968	0	0	25,172	生活援護課
6	生活困窮者自立支援事業	住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯に対し、18歳以下の子ども1人当たり5万円を支給する。	102,351	78,263	78,263	0	0	24,085	生活援護課
子育て世帯への支援									
7	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業	所得の少ない子育て世帯に対し、児童1人当たり5万円を支給する。	161,667	155,240	155,240	0	0	0	こども家庭センター
8	子育て世帯への支援給付金	18歳以下の児童1人当たり1万円を支給する。	289,351	274,681	108,323	0	166,358	0	こども家庭センター
小計			2,665,958	2,579,900	2,332,966	39,595	207,339	50,193	

(2) 事業者等への支援

2,060,208 千円

(単位：千円)

No.	事業名称	事業概要	予算現額	執行額	財源内訳			翌年度繰越額	所管課
					国県支出金		一般財源		
					地方創生臨時交付金	左記以外			
事業者等への支援									
1	介護保険施設・障害者施設等物価高騰対策支援事業	国が定める公定価格等により経営を行う介護保険施設及び障害者施設等を運営する法人を対象に、光熱水費及び燃料費の一部を支援する。	422,355	409,741	198,150	0	211,591	0	高齢者支援課
2	エネルギー価格高騰支援金	エネルギーの価格高騰の影響を受けている中小企業者、農業者等の経営を下支えするため、光熱水費及び燃料費の一部として、最大30万円の支援金を支給する。	1,040,749	1,040,749	375,928	0	664,821	0	産業政策課
3	エネルギー価格高騰支援金	エネルギー価格高騰の影響を受けている中小企業者、農業者等の経営を下支えするため、今冬の光熱水費、燃料費の一部として、最大10万円の支援金を追加して支給する。	375,723	345,195	188,583	0	156,612	0	産業政策課
4	並行在来線対策事業	地域鉄道の安全安心な運行を維持するため、エネルギー価格高騰による影響を受けているえちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社に対して、県及び沿線自治体と協調して支援する。	3,585	3,585	0	0	3,585	0	交通政策課
5	農地渇水・高温対策事業	猛暑・渇水の影響により、農業収入が減少し、厳しい経営状況に直面している農業者等に対して、次年度の営農継続に向けて経営リスクに備えつつ生産意欲が保持できるよう、高騰する生産資材の購入に係る経費の一部を支援する。	228,700	162,949	85,646	0	77,303	0	農政課
6	水田農業推進事業	農産物の生産コストが増加している農業者の経営の安定化を図るため、県のエネルギー価格・物価高騰対策により、燃油使用量、電気使用量及び肥料費の低減に資する農業用機械等の導入費の一部を支援する。	158,529	70,066	0	70,066	0	86,370	農政課
7	畜産振興対策事業	畜産飼料の価格高騰の影響を受けている乳用牛又は肉用牛を飼養する畜産農家を対象に、粗飼料の価格上昇分に係る費用を支援する。	23,431	23,378	9,561	0	13,817	0	農政課
8	農業用施設等維持管理費	電気料金の高騰の影響を受けている農業水利施設を管理する土地改良区等を支援するため、農業水利施設に係る電気料金の高騰分の一部を補助する。	4,830	4,545	1,859	0	2,686	0	農林水産整備課
小計			2,257,902	2,060,208	859,727	70,066	1,130,415	86,370	
合計			4,923,860	4,640,108	3,192,693	109,661	1,337,754	136,563	